

2022
VOL. 06



筑波大學台灣校友會會刊
UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION COMMUNICATIONS

Contents 目次

会長挨拶

- 2 校友会会報の第6号発刊にあたって

筑波大学から

- 4 筑波大学学長挨拶
- 6 沿革
- 8 募金要項

活動報告

- 10 筑波大学台湾校友会第6回総会
- 12 オンライン説明会
- 14 帰国留学生同窓会のネットワーキング
- 16 第5回台湾人若手カフェ
- 18 第2回筑波会議
- 20 虎年の春聯イベント
- 21 筑波大学オンライン同窓会

校友紹介

- 22 台湾・日本の野球の架け橋
- 26 台湾から帰国後3年間のドタバタ
- 34 版画の中から自分を探し出す

留学生だより

- 38 筑波大学書道専攻の経験
- 40 Japan-Expertプログラムでの学び

台湾オフィス報告

- 42 筑波大学台湾オフィス便り
- 44 筑波大学校友会規約
- 46 編集後記

會長的話

- 3 會長的話

筑波訊息

- 5 校長的話
- 7 校史沿革
- 9 捐款

活動報告

- 11 筑波大學台灣校友會第六屆總會
- 13 線上説明會
- 15 歸國留學生同學會活動報告
- 17 第五屆台灣年輕人座談會
- 19 第二屆筑波會議
- 20 虎年寫春聯活動
- 21 筑波大學線上同學會

校友寄語

- 23 台日棒球の橋樑
- 27 離台歸日匆匆這三年
- 35 在版畫中找到自己

留學生寄語

- 39 筑波大學書道専攻之淺抒
- 40 留學心得

台灣辦事處報告

- 43 筑波大學台灣辦事處
- 45 筑波大學台灣校友會章程
- 46 編輯後記

校友会会報の第6号発刊にあたって

文・筑波大学台湾校友会会長 林華章
 (体育研究科 富邦ガーディアンズGM<<ゼネラルマネージャー>>)

筑波大学台湾校友会会長の林華章です。この1年間は台湾の日常生活がコロナによって大きな影響を受けた時期もありました。今年2月に予定されていた第7回総会は、コロナの影響により延期になりました。そうした中でも、皆様のご尽力とご協力のおかげで無事に会報第6号を発行できる運びとなりましたことに、心より感謝を申し上げます。

2020年に続き2021年も各地の親睦会の実施は叶いませんでしたが、多くの恒例のイベントはオンラインで実施されました。2016年2月20日に立ち上げられた筑波大学台湾友会は、こうした新しい形の下でも交流が深められつつあります。

ここに、本会成立目的は校友たちの交流の場であるということ、改めてお伝えしたいと思います。

(1) 筑波大学及びその前身となる学校に在籍した校友を対象としていること

筑波大学は1872年に東京高等師範学校としてその歴史が始まり、東京文科大学(1929年)、東京教育大学(1949年)を経て、1973年につくば市に本部キャンパスを移して筑波大学となりました。本校友会は、このような筑波大学の歴史を踏まえ、筑波大学およびその前身となるすべての大学・組織に所属した校友の集う会を目指しています。

(2) 台湾人、日本人を問わず、台湾在住の方を対象としていること

本会の幹事会にも、台湾人と日本人の校友に参加いただいています。国籍を問わず校友同士が共に盛り上げていく校友会を目指しています。

(3) 校友同士の親睦及び台湾と日本との相互交流と友好発展に寄与すること

校友同士の懇親会、筑波大学と台湾の交流支援などを企画実施していきます。本会報もその一助となればと考えています。皆様の方で活動企画などありましたら、是非幹事会へご連絡ください。校友の皆様と情報共有するとともに協力して活動していきたいと考えています。

(4) これまでの校友活動に敬意を払うこと

本学の148年に渡る歴史の中で、様々な先輩・後輩の方々が、校友間の親睦や筑波大学との交流に貢献されてきました。このような活動に敬意を払い、また校友間でこれまでの活動を共有するためにも、本会報などに取り上げて行きたいと考えています。是非とも御寄稿ください。

会則および幹事については本会会則をご覧ください。

よりよい校友会にしていくために、皆様のご意見を歓迎しております。何かありましたら、私または幹事会へ是非お知らせください。

今年もよろしくお願いいたします。

筑波大学台湾校友会 会長 2022年2月吉日

會長的話

文・筑波大學台灣校友會會長 林華章
 (體育研究科 富邦悍將領隊)

我是筑波大學台灣校友會會長林華章。這一年台灣的日常生活因為新冠肺炎的蔓延有過一段受到極大影響的時期，而預訂在今年2月舉行的第七次的總會，也因為疫情而順延了，然而歷經波折，第六期的台灣校友會會刊還是順利付梓，在此向盡力幫忙的各位，獻上無盡的感謝之意。

2020年之後的2021年還是一樣無法舉辦實體的親睦會，導致很多例行的活動都被迫改為線上的方式舉行。於2016年2月20日成立的筑波大學台灣校友會，卻在如此新穎的形態下，進行著校友間持續的深度交流活動。

再次借此機會重申本校友會的成立目的在於促進校友之間的交流，故以下幾點在此再度向大家說明：

(1) 本校友會の入會資格，以筑波大學及前身大學校友為對象

筑波大學始於1872年創校之東京高等師範學校，經歷了東京文科大学(1929年)、東京教育大學(1949年)的時代，於1973年把校本部移到筑波市，以此地為名而成立了筑波大學。故本校友會以此歷史的軌跡為本，以集合筑波大學及前身之所有大學之校友為目的而設立。

(2) 不分國籍，以居住在台灣的校友為對象

以本校友會的幹事會為例，台灣的校友和日本的校友皆擔任幹部，不分國籍，一同為台灣校友會的活動盡心盡力，以融合不同國籍的校友為目的而設立。



林華章

(3) 以增進校友間的感情，加強台灣與日本間相互的交流與發展為目的

將策劃校友間的聯誼活動，並支援筑波大學與台灣之間的交流，本次發行之會刊，即為此目的而策劃，希望能對促進聯誼有所助益。諸位校友若有其他活動企劃的想法，也煩請跟幹事會聯絡。願校友們都能在共有共享的基礎上，互助合作，為本校友會的活動增添色彩。

(4) 向歷來的校友會活動致敬

在母校148年悠久的歷史中，有些校友先進為校友活動貢獻良多，在此向歷來的校友會活動參與人員，致上最高的敬意與最深的感謝。為了與所有校友們分享校友會在此一年間的交流活動，我們每年將其編輯成冊，在此歡迎各位校友不吝惠賜稿件，在會刊的取材與內容方面，也歡迎隨時提供我們寶貴的意見。

另外，也將台灣校友會的章程附載於本會刊中，還請各位會員務必過目。

各位會員的賜教都將促進本會的成長，有任何意見都請直接與我或幹事會聯絡，再次謝謝各位。

筑波大學台灣校友會 會長 2022年2月吉日

筑波大学は、1872年に明治政府によって我が国で最初の高等教育機関として創立された師範学校を創基として、東京教育大学に至る歴史を経て、1973年に「新構想大学」として誕生し、2023年に創基151年、開学50周年を迎えます。

本学は、あらゆる面で「開かれた大学」という建学の理念のもと、従来の観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現するために、「不断の改革」を進めてきました。本学の前身である東京高等師範学校の校長であった嘉納治五郎氏は近代柔道の父として名を知られていますが、それ以上に重要なことは理想に溢れた優れた教育者であり、日本の高等教育を国際社会に開いた先駆者であったということです。また本学は総合大学としては他に例を見ない幅広い学問分野を有しており、専門分野を深化させながら、新たな学際融合・横断的な教育研究を積極的に開拓してきました。

現在、私たちを取り巻く環境は、激変するグローバル社会の中で、混乱の度合いを増しています。グローバル社会の中では、国際紛争・テロリズム、感染症あるいは経済・金融問題などを例に取るまでもなく、問題は国境を超えて瞬く間に広がっていきます。エネルギーや環境の問題、産業と経済の活性化の問題など、解決すべき課題は地球規模で共有しなければならない問題であり、解決に向けては従来型の発想を越えたイノベーションが必要です。

これらを解決するために、本学には教育、研究、およびそれらを基盤とした社会貢献が求められています。研究学園都市で新構想大学として出発した本学は、先端的な研究教育拠点、知の国際連携活動拠点、そして我が国の産官学協働の拠点として育ってまいりました。今後は、本学は持てる力を結集して、地域と地域社会、国と国民、世界と人類の公益に資する開かれた大学として努力を続けてまいります。そのためには、共に進む卒業生や関連する企業などの皆様からのご指導、ご鞭撻が必要です。

こうした思いの実現に向けて、「世界トップレベルの研究支援」、「国際交流とグローバル人材の育成支援」に関する支援のための「創基151年筑波大学50周年記念基金」を創設いたしました。つきましては、全てのステークホルダーの皆様に記念基金の趣旨をご理解いただき、記念基金へのご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

国立大学法人筑波大学長

永田恭平

ごあいさつ

筑波大学は1872年明治政府時期我が国最初的高等教育機関一師範学校を創基として、1973年に「新構想大学」を創設した。2023年即創基151年、本校は創設50周年を迎えます。

本校は「開放性大学」を基礎建校理念として、率先して「既不受舊有観念の拘束的「可彈性調整的教育研究組織」、又兼顧下個世代所企求的「嶄新の大學體制」、以此理念「不斷の改革」至今。曾經擔任過本校前身的東京高等師範学校校長的嘉納治五郎校長、他不僅是以近代柔道之父聞名的一位充滿理想的優秀教育家，也是將日本的高等教育開拓到國際社會的先驅。本校擁有別處所沒有，涵蓋極其廣泛的學術領域之綜合大學，積極地在專門領域上深入研究，並開拓創新的融合不同學門、橫跨各領域的教育研究。

現在我們所面對的是一個在變化多端的國際社會中，混亂的程度與日俱增的環境。在這樣的國際社會中，國際紛爭、恐怖攻擊、傳染病以及經濟金融等等問題不勝枚舉，而且持續超越國界地迅速蔓延。還有能源與環境、産業與經濟的活性化等等也是全球共有的問題，這些都必須以全球整體規模來思考解決之道，超越既有的思維，尋求創新的見解。

本校的教育與研究都是為了要根本解決以上問題，冀求對社會有所貢獻。本校是在筑波市這個研究學園都市上建立起的新構想的大學，因此集合了最先進的研究教育機關、跨國的合作據點、我國產官學合作等豐沛資源，因此得以成長茁壯。此後，本校也將全力以赴，為地域與社會、國家與國民、世界與全體人類的公益持續付出最大的努力。所以我們需要各位畢業生、關連企業界的各位給我們莫大的指導與鞭策。

為求實現理想，本校創設了「創基151年筑波大學50週年紀念基金」，協助「世界頂尖研究支援」、「國際交流與跨國人材的培育支援」相關的資金支援。在此懇請秉持您一貫對本校的熱誠支持，理解本紀念基金的創立宗旨後，惠賜您的捐贈贊助，在此先向您致上最誠摯的謝意。



1872

- 5月29日、東京に師範学校設立。

1886

- 東京師範学校は高等師範学校と改称。



1893

- 嘉納治五郎、校長に就任。



1920

- 東京箱根間往復駅伝競走大会優勝
金栗四三が設立した、東京箱根間往復駅伝徒歩競争大会(現在の箱根駅伝)第1回で東京高等師範学校が初優勝を飾った。



1929

- 東京文理科大学設置。




筑波大学の起源は1872年、日本初の教員養成機関として発足した「師範学校」にさかのぼります。それから101年、東京教育大学の移転を契機に、よき伝統と特色を生かしながらも、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973(昭和48)年に「開かれた大学」を建学の理念に総合大学として発足しました。開学から40有余年、筑波大学は初心を忘れず、しかもつねに時代を先駆ける大学を目指して不断の改革を続けています。



1949

- 国立大学設置法(昭和24年法律第150号)により東京教育大学設置。



1956

- 朝永振一郎、学長に就任。
東京教育大学第2代学長。1965年、ノーベル物理学賞受賞。くりこみ理論の発明により、量子電気力学の発展に寄与。1969年、東京教育大学名誉教授に就任。



1973

- 国立学校設置法等の一部を改正する法律(昭和48年法律第103号)により筑波大学を設置。



1992

- 江崎玲於奈、学長に就任。
筑波大学第5代学長。1973年、ノーベル物理学賞受賞。現代のエレクトロニクスの基礎を担う半導体物理学分野の発展に寄与。1998年、筑波大学名誉教授に就任。



2004

- 国立大学法人法(平成15年法律第112号)により国立大学法人筑波大学を設置。

1. 名称 —— 「創基151年筑波大学50周年記念基金」

2. 目標金額 —— 10億円

3. 募集期間 —— 2024年3月31日まで

4. 支援内容 —— ●研究支援・人材育成支援[世界トップレベルの研究支援]
幅広い学問分野において、真理を深く探求する研究と、研究成果の社会還元を目指す研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。
また、最先端研究とともに基礎研究を着実に実施する。



●国際交流とグローバル人材の育成支援

日本人学生の海外留学支援、優秀な留学生に対する経済支援、学術研究水準の向上とグローバル人材の育成を支援する。

5. ご寄附の方法 —— (1)お振り込みによるご寄附[銀行・郵便局]

所定の振込用紙に必要事項をご記入の上、お近くの金融機関の窓口にお出してください。

(2)オンライン決済によるご寄附

[クレジットカード決済、インターネットバンキング決済(ペイジー)、コンビニ決済]

「筑波大学基金ウェブサイト」よりお申し込みください。

<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6. 顕彰・特典 ——

●寄附者銘板 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、大学会館エントランスホールにご置きます「筑波大学基金寄附者銘板」にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。(ご希望の方のみ)

●感謝状の贈呈 ● 個人で10万円以上、法人で50万円以上のご寄附(累計額)を賜りました方につきましては、感謝状を贈呈させていただきます。

●記念品贈呈 ● 募集期間中、各年度内個人で3万円以上、法人で10万円以上のご寄附を賜りました方につきましては、御礼として、本学関連商品等を贈呈させていただきます。



寄附者銘板

1、名稱 「創基151年筑波大學50週年紀念基金」

2、目標金額 10億日幣

3、募集期間 2024年3月31日為止

4、支援内容 ●研究補助與人才培育「世界頂尖研究支援」
在廣泛的學術分野中，開展世界頂尖最先進的研究，一方面探求深入真理，另一方面也能將研究成果回饋社會，在最先進的研究與基礎的研究兩方面都能夠確實的推進。



●「國際交流與跨國人材的培育支援」
支援日本學生到國外留學、優秀的留學生到日本的經濟支援、提升學術研究水準與國際人材培育之支援。

5、捐款方式 (1) 匯款{銀行或郵局}

在匯款用單上填入必要事項後，就近到金融機關匯款。

(2) 線上付款

{信用卡付款、線上電子付費Pay-easy、便利商店付款}

到{筑波大學基金官網}上申請：

<http://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>



6、表彰

●捐款者芳名 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將在筑波大學大學會館的穿堂「筑波大學基金捐款者芳名錄」上刻上芳名以茲感謝。(有此意願者)

●感謝狀 ● 個人捐款10萬日幣以上或法人捐款50萬日幣以上(累計)，將賜贈感謝狀。

●紀念品 ● 募款期間，各年度個人捐款在3萬日幣以上或法人捐款10萬日幣以上，本校將贈與紀念品以茲感謝。



筑波大学台湾校友会 第6回総会

2021年1月23日、福華大飯店において第6回筑波大学台湾校友会が開催されました。多くの校友にお集まりいただきましたこと、更には筑波大学からは永田学長、金保副学長、ベントン副学長、大根田国際室長、木島先生、野村先生、大庭先生、阿部先生、大森副理事、山田室長という盛大な応援団の皆さまにオンラインでご参加いただきましたことに、心より感謝申し上げます。コロナ禍で会えない日が続いていますが、そんな中でも私たちの熱い思いは伝え合うことができました。

本校友会の林会長が台湾教育部から終身成就賞を受賞されたことに対して、永田学長からサプライズでお祝いする場面では、画面越しに送られたプレゼントが実際に会場に現れ、大きな歓声と拍手が湧き起りました。

御年91歳の呉萬福先輩をお迎えできたのも、今回の総会での嬉しい出来事でした。背筋を伸ばして張りのある声でお話しされる姿には、ただ敬服するばかりです。

「今昔物語」では余書農さんと劉宇帆さんに登壇していただきました。若い二人の卒業生の筑波大学在学中の出来事や母校への熱い思いに、参加者たちも共感と感動を覚えました。

今回の総会で行われた会長選挙では、林華章会長が満場一致で第三期の会長に当選し、また潘進丁先輩と邱若山先輩には引き続き副会長を務めていただくことになりました。

ご参加くださいました校友の皆さまには改めて感謝を申し上げます。皆さんあっての台湾校友会です！

筑波大學台灣校友會 第六屆總會

2021年1月23日第六屆筑波大學台灣校友會於福華大飯店圓滿落幕。感謝校友們的支持，更感謝筑波大學陣容龐大的應援團全程以視訊的方式參與。包括永田校長、金保副校長、Benton副校長、大根田國際室長、木島教授、野村教授、大庭教授、阿部教授、大森副理事、山田室長等師長，疫情的阻隔，沒有澆熄我們的熱情。

永田校長為恭賀林會長榮獲教育部頒發的終身成就獎，特別秘密準備了禮物，透過螢幕給林會長驚喜，而當實體的禮物也出現在會場時，全場校友報以熱烈的掌聲，見證了這份難得的友誼。

高齡91歲的吳萬福學長的蒞臨，也是給台灣校友會的另一份大禮。神采奕奕的吳學長，一拿起麥克風便是一場精采的演講，令人無限感佩。這次的「今昔物語」分享時間，請到了余書農及劉宇帆校友。二位年輕校友分享了各自在學期間的趣事與感觸，對母校的感懷，讓在座的校友們都深受感動。



並恭喜林華章會長以全票通過當選了第三任會長，會中敦請了潘進丁學長以及邱若山學長繼續擔任副會長，協助會務的推動與開展。

再次感謝參與此次活動的校友們，有你們，才有台灣校友會！



オンライン説明会

昨年に引き続き、コロナ禍のため、今年も台湾人高校生対象の筑波大学入学および留学説明会を2021年8月24日にオンラインで開催しました。

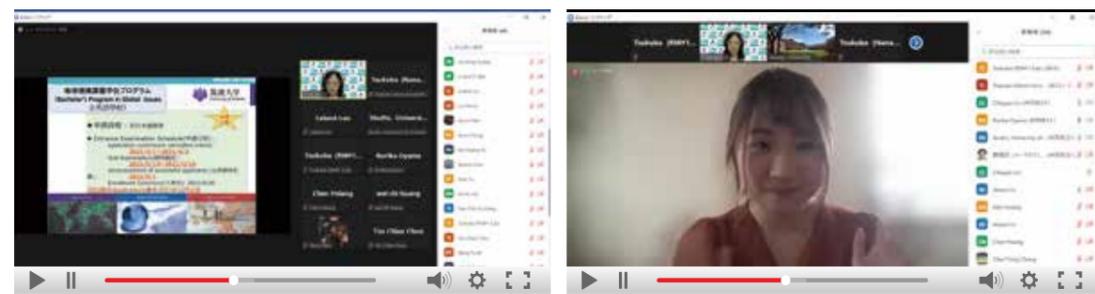
台湾オフィス責任者の挨拶に続いて、同じオフィスの林秘書から本学の各英語プログラムや外国人留学生のための日本語によるJapan-Expertプログラムの紹介や入学手続きなどについて、中国語での解説がありました。また、在学生2名に筑波大学の入学の動機、入学への準備や大学生活について説明してもらいました。一人は台湾在住経験がある地球規模課題学位プログラムの日本人学生で、もう一人は人文学の大学院で現在台湾人留学生会会長を務めている学生です。参加者からの質問はチャットで常時受け付け、全てわかりやすく返答しました。今回も本学の国際局のスタッフの皆様のご協力により順調かつ円滑に実施することができ、心から感謝を申し上げます。

今年度は、新しい試みとして2021年10月25日台湾の民間の日本留学エー

ントUF JAPANが開催した筑波大学の入学説明会に台湾オフィスが参加し、UF JAPANのスタッフと一緒に説明および質問に対応しました。

さらに今年度も、2021年11月27日に国立台湾大学海外教育フェアに参加しました。今回は例年と違い、オンライン開催となりました。インターネット上にバーチャルな会場を設置し、台湾大学と協定を結んでいる各大学がそれぞれのブースにおいて大学の説明を実施していました。台湾大学からの参加者も各ブースに立ち寄り、説明を聞いたり質問したり説明資料をpdfで自由にダウンロードしたりしました。今後、コロナ禍が収束しても採用される開催方法の一つではないかと思われま

引き続き筑波大学の良さを、さまざまな方法で台湾で発信し、長期・短期留学先として選択していただけるように台湾オフィスは努力して参りますので、今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



線上説明會

自從去年爆發了新冠肺炎疫情，今年以台灣的高中生為對象的筑波大學入學留學說明會，也於2021年8月24日以線上的方式舉辦。

在台灣辦事處的處長致詞之後，由台灣辦事處的林秘書以淺顯易懂的中文解說了本校的各種英語授課的學程，以及為外國留學生而特設的Japan-Expert日語學程的學程內容、入學手續等最新資訊。另外，由二位在校生分享了申請入學的動機、入試的準備及大學的生活等等。這次我們邀請到的在學生中，一位是有長住台灣經驗的日本學生，她目前就讀的是地球規模課題學位學程(BPGI)；另一位則是台灣留學生會的會長，她目前就讀的是人文學的碩士班。在線上說明會中參與的高中生、教師、家長們都透過留言系統發問，我們也盡力即時回覆。這次的說明會活動承蒙本校的國際處同仁的幫忙，才能圓滿順利落幕，在此由衷感謝。

今年度我們的新嘗試是在2021年10月25日與台灣民營的UF JAPAN日本留學中心共同舉辦了筑波大學的入學說明會。與UF JAPAN的工作人員一同為有興趣的家長同學們詳盡解說並現場回答問題。

另外，今年度也在2021年11月27日參加了國立臺灣大學舉辦的海外教育展。這次與往年不同的是改成以全面線上的方式舉行。透過網路建立了虛擬的會場，與臺大締結的各姊妹校都設立了各自的攤位參展。臺大的學生都以線上的方式參加，自由地到各大學的攤位觀看影片、下載資



料，也能自由留言。這樣新穎的做法不讓我們反思，就算疫情結束，這也未嘗不是舉辦活動可行的一種方式。

今後台灣辦事處也將持續運用各種多樣多元化的方式，努力讓筑波大學的好，被台灣人所看見，希望無論是長期或是短期的留學，筑波大學都會是計畫留日的同學心目中一個優質的選項，還請大家多多支持。

帰国留学生同窓会の ネットワーキング～新歓そしてつくバック～

オンラインで開催された世界各国で活躍する筑波大学卒業生・修了生をつなぐ同窓会に参加し、林華章会長、校友会幹事の余書農さんとともに台湾校友会についてご紹介させていただきました。

まず、林会長から台湾校友会の成り立ちと活動内容について、総会や親睦会、会報の発行等の定期的な活動を中心にご報告がありました。それに続く余さんのお話は台湾校友会のメンバーでよかったことという内容で、ご自身の野球活動において校友会メンバーの皆さんとの交流が大変役に立ち勉強になっているということでした。私は台湾に長く住む日本人として、現地の日本人卒業生・修了生のネットワーキングと台湾校友会のつながりについて報告しました。

台湾在住の日本人卒業生は、企業や団体からの派遣による駐在、現地での起業、就職、結婚等々台湾とのご縁はさまざまです。現地在住日本人を主な対象としている日本語の情報誌等で連絡を呼び掛けていますが、個人的な伝手で紹介されることも少なくありません。思わぬところでの偶然の出会いや再会があり、ここからも筑波大学の卒業生の活躍ぶりがうかがえます。

筑波大学台湾校友会では和気藹々とした雰囲気の中、国籍も言語も世代も超えた交流が続けられています。こうしたご縁をくださいました母校の筑波大学には改めて感

謝しております。

今回は、オンラインツールoViceを使っでの交流でした。ツールに慣れておらずあたふたする場面もありましたが、それも何かゲームでもしているようで楽しかったです。

また、この同窓会で流された現在筑波で学んでいるマレーシアの留学生の方が作成して下さった「つくばの今」の動画には、変わりゆく母校やつくばの街並みの中にも思い出の場所を見つけ、懐かしさに涙が出そうになりました。

早く母校に気軽に帰れる日が来ること、皆様が安全かつ健康にご活躍されることを願ってやみません。

コロナ禍で実際にお会いして交流することが叶わない中で、このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。（文：服部美貴 日本語・日本文化学類卒／地域研究科日本語コース修了、台湾大学日本語文学系講師）



帰国留学生同窓会活動報告 ～迎新以及紹介筑波校友會～

連結世界各地筑波大学卒業生以及研究生の校友聚會，今年以網路線上會議方式舉辦，本人在會中和林華章會長校友會幹部余書農共同介紹了台灣校友會。

首先由林會長說明台灣校友會成立始末、活動內容、校友會年度總會、懇親會、會刊發行等等例行活動。接著余書農校友報告，自認非常慶幸身為校友會成員，他目前從事有關棒球各種活動，能和大家交流切磋對自身有莫大助益。而我本人是久居台灣的日籍人，在會中簡單扼要報告了在台日籍畢業生、研究生各種活動以及和台灣校友會的互動。

據瞭解，現居台灣的日籍畢業生，有的是因企業、團體的派駐，在現地創業、就業、結婚等各種因素和台灣結下不解之緣。藉由日語資訊刊物彼此互通訊息，或透過個人的方式介紹者亦不在少數。有時在意想不到的地點巧遇，處處可見筑波畢業生活躍於不同時空的足跡。

話說，筑波台灣校友會總是在一團和



氣中不分國籍語言彼此互相交流。能得此緣，由衷感謝母校筑波大學所賜。

因疫情這次會議使用oVice線上會議系統，雖然偶有不熟悉系統出現慌亂情形，就如同玩線上遊戲，很有趣。

另外，目前在筑波就讀的馬來西亞留學生製作的「筑波現況」影片，窺見變動中的母校，以及筑波街景有我們懷舊的回憶不禁眼眶泛淚。

衷心祈願早日能隨興回母校，所有筑波人安全且健康。

新冠疫情中，即使無法面對面進行交流，能有此次線上聚會真心感謝。（譯：孫寅華 地域研究科 淡江大學日本語文學系副教授）



筑波大学校友会のご縁で、国際関係学類（当時の名称）卒業生の元朝日新聞台北支局長の西本秀さんは台湾大学にお越しいただき、日本語を学ぶ大学生たちに新聞記者としてのお仕事についてお話しいただきました。

因筑波大學校友會之緣，國際關係學類（當年名稱）畢業生，前朝日新聞台北支局支局長西本秀，在會議中闡述介紹新聞記者的工作。

第5回台湾人若手カフェ リサーチとキャリアパス

第5回となる「台湾人若手カフェ」が2021年12月11日（土）、筑波大学で開かれました。台湾から留学している大学院生や卒業生たち計25人が対面式とオンライン式で参加し、研究成果や就職活動の経験を発表しました。

若手カフェは、大学国際局や台湾事務所、台湾留学生会が主催し、台北駐日経済文化代表処が後援しました。当日は代表処の黄冠超・教育部長があいさつし、学生たちに「若手カフェは、留学生が先輩たちの経験を聞ける良い機会です。互いに交流してほしい」と呼びかけました。

午前の部では、大学院に在籍する4人の台湾人留学生が発表しました。人間総合科

学研究群の黄俐閔さんは、クイズを活用した治療が認知症患者にもたらす効果について解説して、参加者は積極的に質問していました。

午後の部では、卒業生たち4人が就職活動や仕事の経験を発表しました。朝日新聞特派員として台湾に駐在した西本秀さんは、台湾で暮らした4年間に執筆した台湾総統選や鉄道脱線事故などの記事を紹介しました。

台湾大学日本語文学系の助理教授となった呉勤文さんは、大学院修了後に台湾の大学で仕事を見つけるために必要な論文の執筆や学会とのつながりについて解説し、学生たちは熱心に聞いていました。

第五屆台灣年輕人座談會 喝咖啡聊研究與求職就業分享會

今年已是第五屆了的「台灣年輕人座談會」在2021年12月11日星期六，於筑波大學舉行。包含在筑波大學留學的台灣學生，研究所學生與畢業生等，線上線下共計25人，在當天與我們共襄盛舉，分享研究成果與就職活動的經驗。

台灣年輕人座談會是由筑波大學的國際處、台灣辦事處、台灣留學生會所主辦，台北駐日經濟文化代表處協辦。當天代表處的黃冠超教育部長，也特別到場給我們勉勵，呼籲同學們：「台灣年輕人座談會是難得留學生能向學長姊請益人生經驗的大好機會，希望同學們都能好好把握！」

在上午的活動中，四位尚在筑波大學在學的台灣留學生分別發表了他們的研究

成果。人間総合科学研究群の黄俐閔同學的發表中，提到她利用猜謎的小遊戲協助治療失智症者，成效卓越，參加的其他老師同學也很踴躍提問。

下午的活動是由四位畢業校友，與大家分享就職活動和工作的經驗。朝日新聞的特派員西本秀先生，向大家介紹了他在台北派駐的四年期間，報導過的台灣總統大選以及台鐵列車出軌的意外事件。

今年輔就任於台灣大學日文系的助理教授吳勤文，則熱心的與大家分享她在博士畢業後，在台灣的大學尋找教職的過程中，所需要準備的論文著作、及參加學會等之關聯性，同學們也都十分熱情分享討論。



第2回筑波会議

オードリー・タン台湾デジタル大臣をお迎えして

文 ● 筑波会議・TGSW推進ユニット

2021年9月21日（火）～30日（木）に、筑波会議2021が開催され、オードリー・タン台湾デジタル大臣にご登壇頂きました。

筑波会議は、あらゆる境界を越えて未来を形作る若者（future shapers）がつくばに集結し、「社会と科学技術」に関する諸課題を議論する国際会議です。永田恭介学長が委員長を務める筑波会議委員会が主催し、筑波研究学園都市の様々な機関と連携しつつ、筑波大学がその運営に主導的な役割を担っています。

2019年につくば国際会議場で開催された第1回は、世界61カ国・地域から約1,500名の参加者がありました。第2回目となる筑波会議2021は、コロナ禍をふまえた「Inclusive Innovation for the New Normal」をメインテーマとし、40のセッション全てがオンライン形式で実施されました。70を超える国・地域から、3,000人を超える参加登録者を得て活発な意見交換が行われ、最終日に筑波会議の理念をメッセージ化した「筑波宣言」の発表をもって閉会しました。

オードリー・タン大臣には、9月21日の

基調講演で、多元的でインクルーシブな社会においてデジタルイノベーションが牽引する「個人と公衆のパートナーシップ」の方向性についてお話し頂きました。

さらに、タン大臣は9月28日のFuture Shapers セッションにもライブ登壇くださいました。本セッションは、タン大臣による台湾におけるデジタル民主主義の紹介に始まり、その後、多様な分野の8名の若手研究者等によるパネリストの質問に、タン大臣がその場で応答される形で進行しました。近隣者とのコミュニケーション、多様性の受容、科学技術の役割などについて熱心な議論が展開されました。どのような質問にも温かい共感と優れた洞察をもって応答をされるタン大臣とのディスカッションは、刺激的かつ大変有意義なものでした。

本セッションを通して若手研究者等が得た気づきは、「筑波宣言」の第4条 “We are committed to reciprocal communication on science with our neighbors, and thereby joining in social innovation.” の言葉に反映されています。



関連WebサイトURL

- ◎ 筑波会議2021 <https://tsukuba-conference.com/>
- ◎ タン大臣の筑波会議の登壇動画（タン大臣の公式サイトで公表されています）
<https://pdis.nat.gov.tw/en/track/>
 2021-09-21 Opening Remarks for Tsukuba Conference
 2021-09-28 Talks at Tsukuba Conference The Future Shapers Session

第二屆筑波會議

台灣行政院政務委員唐鳳蒞臨與會

文 ● 筑波會議・TGSW推進小組

2021年9月21日～30日筑波會議期間榮幸邀請到台灣行政院政務委員唐鳳蒞會演講。

筑波會議是一個集結跨領域希望打造未來的年輕人，共聚於筑波針對「社會與科學技術」等諸多議題進行討論的國際會議。此會議由擔任委員長的永田恭介校長所屬的筑波會議委員會舉辦，同時連結筑波研究學園都市周邊各個研究機構，由筑波大學負責主導營運。

2019年於筑波國際會議廳舉辦第一次會議，有1500名來自世界61國以及地區的參加者。第2次2021筑波會議，在新冠肺炎蔓延中，以「Inclusive Innovation for the New Normal」主議題，40場次發表悉數採線上



方式舉行。報名人數來自70個國家/地區超過3,000人次在線上熱烈發言討論。大會閉會日，更將筑波會議的理念訴諸文字，以「筑波宣言」畫下本屆會議的休止符。

唐鳳部長於9月21日的基調演講中談到在多元包容的社會，數位革新將如何牽動帶領「個人與公眾的夥伴關係」。

更於9月28日親臨Future Shapers討論場次。從介紹台灣數位民主主義開始，及至八名不同領域年輕研究者組成的圓桌論壇，紛紛提出各種問題，唐鳳部長以即席方式進行應答。例如與近鄰國家區域間的溝通、多元包容、科學技術的功能任務等等，展開熱烈對談。無論任何問題唐部長都以溫文同理心，以及卓越的洞悉力進行回答，使得本場討論會極具刺激性同時意義非凡。

經由本場次熱烈對談，年輕研究者意識到並且反映在「筑波宣言」第四條 “We are committed to reciprocal communication on science with our neighbors, and thereby joining in social innovation.”（譯：孫寅華 地域研究研究科 淡江大學日本語文學系副教授）



虎年の春聯イベント

小年夜（旧暦大晦日の前日）の2022年1月30日午後、芸術研究科書道専攻の沈伯陽さんをお迎えして、Facebookライブでオンライン春聯¹⁾イベントを開催しました。

まずは伯陽さんに「福虎生風」「福」「春」の字を台湾オフィスFB上のお知らせ用にご書いていただきました。それらは篆書、隸書、楷書の3種類の字体から選ぶことができます。伯陽さんは、日本語でも七字聯²⁾でも、どんなリクエストにも「なんでもござれ」。イベント当日は、旧正月前の温かい雰囲気の中で伯陽さんがライブで寄せられた校友たちのリ



クエストに応じて揮毫してくださいました。

その後すぐにEMSで台湾に送られた春聯は、今年1年がすべて順調にいく良い年になるようお願いを込めて、台湾オフィスの入り口に貼らせていただきました。

台湾のお正月の雰囲気味わえるこのイベントにより、コロナ禍にあっても台湾の留学生と台湾校友会の先輩たちとの心をつしっかりと繋ぐことができました。（訳：服部美貴 日本語・日本文化学類卒/地域研究科日本語コース修了、台湾大学日本語文学系講師）

- 1) 縁起の良い言葉が書かれた赤い紙。旧正月（春節）に玄関やドアに貼る。
2) 7つの字によるおめでたい言葉が書かれた春聯。

虎年寫春聯活動

我們在小年夜(2022年1月30日)當天下午，邀請到藝術研究所書法專攻的沈伯陽同學，利用臉書直播的方式，舉辦了線上寫春聯的活動。

伯陽同學先寫了「福虎生風」、「福」、「春」讓我們公告在台灣辦事處的臉書粉絲專頁上給大家參考，還可在篆隸楷三種字體中任選。活動當天，在年節前暖暖氛圍中，大家都上線觀看伯陽現場揮毫的英姿，也有校友指定了日文聯、七字聯等等，都沒能考



倒伯陽。寫好的春聯也馬上快遞寄回台灣，趁著年味尚濃，台灣辦事處也立即貼上，願虎年大吉，事事順利。

藉著這個小小的年節應景活動，我們無懼於疫情的分隔，連繫著台灣留學生與台灣校友會的學長姊們真摯的心意。

筑波大学オンライン同窓会 台南—台中—ミュンヘン—東京のつながり

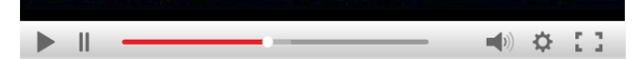
卒業して離れ離れになったみんなとコロナ禍で集まれないので、定期的にリモートでプチ同窓飲み会を開催。毎度ながら一晩中話が盛り上がり、いつの間にか夜中でしぼしぼお開きに、時に筑波で留学してた話には本当に花が咲き、延々と話が終わらない！！卒業して10数年、つくばで過ごした濃い時間がやはり皆の心に深く刻まれているだろう。



筑波同窓 線上同學會

台南—台中—高松—
慕尼黑—東京連線

各奔東西の同期好友們，因疫情關係無法相聚，就定期約時間在線上小聚一下。毫無懸念一聊就是一整晚，每次都要聊到三更半夜才願意散會，憶當年的話題總是源源不絕，聊也聊不膩！！畢業也十餘年了，大家還是無法忘懷過去在筑波一起打拼的日子。（文：余書農 體育專門學群 盛樂地野球訓練中心 總負責人）



台湾・日本の野球の架け橋

文・井脇 毅 (体育研究科 スポーツ医学専攻 プロ野球選手個人専属トレーナー)

台湾滞在の最後の休日である11/19(木)、ようやくこのお方とお会いできました！現在、台中市にある台湾体育運動大学教授(先日まで学長)、林華章(リン・ファウエイ)先生です。

味全龍はじめ、CPBLには台湾体育運動大学OBが数多く在籍しています。また、CPBL内にも同世代、後輩の知り合いが多く、人脈の広さを実感しました。

また林先生と筑波大学体育研究科の川村卓先生とは野球を通して非常に交流があり、私の台湾行きの際にも川村先生からは是非お会いして欲しいとお願いされたぐらいです。

林先生は非常にご多忙に加え、私も遠征三昧、加えて台湾も5月からの市中感染により、厳しい制限があり、今回は厳しいかな…とっていました。

19日は林先生がちょうど台北市で会議があるため、筑波大学硬式野球部川村監督黎明期の教え子、余書農(イースーノン)君のご尽力もあり叶いました。私が田澤純一投手のパーソナルトレーナーを担当しているということもあり、田澤投手との野球談義が実現しました。

つくば在住の頃の話、台湾野球今昔物語、田澤投手が感じたメジャーリーグと台湾野球との違い、ヤマハ発動機〜河合楽器とエネオス、社会人野球出身同士の話など2時間弱のひとときがあつという間でした。かなり懐かしい、マニアックなつくばネタ



左起：余書農、田澤純一、林華章、井脇 毅

でも盛り上がりました(笑)

実は世界中にたくさんの筑波大学OB会が存在するようですが、台湾のOB会(台湾校友会)が一番活発に機能し、かつ参加者も多いようです。スポーツのみならず、他業種でもご活躍の方が多く、更に毎年筑波大学には多くの留学生が進学しているようです。

林先生は会長を務められていらっしゃいますが(「もう隠居したいよ」とご謙遜されていますが)、力の入れようがわかる「筑波大学台湾校友会会報」を創刊、情報発信に努めていらっしゃいます。バックナンバー全てを頂戴しました。デザイン、冊子のクオリティ、内容…とんでもないです！しかも日本語、中

台日棒球の橋樑

文・井脇 毅 (體育研究科 運動醫學専攻 職業選手個人隨身防護員)

在台湾工作的最後一天假日の11月19日(週四)、終於拜訪了這位重量級人士!!台湾體育運動大學教授(到前幾個月還是校長)的林華章校長。

以味全龍為首、在中華職棒有許多台灣體育運動大學的校友、同時也有許多林校長同世代以及後輩、深深感受到了林校長在棒球界的人脈之廣。

除此之外、林校長與筑波大學體育研究科的川村卓老師透過棒球也有非常深的交流、也因如此本人要來台灣工作時、川村老師也特別囑咐我能找時間拜訪林校長。

但由於林校長平日公務繁忙、本人也因隨隊外出比賽四處奔波、加上台灣五月時因疫情升溫外出限制變多、原本想說這次拜訪林校長可能無法實現了。但透過川村老師赴任初期的學生余書農聯繫、得知林校長19日於台北有開會行程、由書農協調得以實現順利拜會林校長、也因本人擔任田澤純一投手的隨身防護員的緣故、實現了林校長與田澤純一投手的棒球對談。

從林校長留學筑波大學時的事蹟、到台灣棒球古今的差異、以及田澤投手感覺到的大聯盟與台灣棒球的差異、還有山葉發動機



國語、両国語が掲載されていて…労力を惜しまない結晶の表れでしょうか。3年前、林先生、筑波大学永田学長、そして台湾・日本の至宝・王貞治氏とのスペシャル対談も掲載されています。拝読しましたが話が深いです！

野球談義の中で田澤投手が川村先生はじめ、筑波大学の体育のエキスパートの先生方のサポートを受ける契約「学術指導」というプロ野球選手と筑波大学が契約を結ぶ日本で初のパイオニアとしてのプロジェクトを4年間行っている事をお伝えすると、筑波大学とのご縁がある事に大変お喜び頂きました！

田澤投手から林先生、並びに筑波大学台湾オフィス(台北市)に公式ボールにサインを書いて頂きました。私も僣越ながら川村先生との共著「打者を打ち取るストレートの秘密」を謹呈させて頂きました。世界中に筑波大学、野球という繋がりの深い方がいらっしゃり、交流を深められた事、幸甚です！

「規律」「教育」「準備」「想定」…このようなキーワードはこの面々の中で共通言語でした。最後にきっかけを頂いた川村先生、アテンドに奔走したスーノン君(林先生の右腕として校友会の幹事)に「謝邀您(より感謝の意)！」

——河合楽器與新日本石油等、兩位都經歷過的社會人野球的球隊的故事，二個多小時的時間一轉眼就過去了。當然中間也聊了不少只有筑波人才會知道的小故事。

也從聊天過程中得知，全世界有不少筑波大學的校友會，其中台灣校友會是最為活絡的一個，參與人數也非常多。不只是在運動領域，在各行業也有許多傑出校友，現在每年也有許多新的留學生到筑波大學留學。

現在由林校長親自擔任台灣校友會會長，林校長本身也謙虛提到想要交棒給後輩了，從校友會會刊創刊致力於向外界傳達校友會訊息等事務，都可以看得出林校長對台灣校友會的工作投入程度。林校長也親手將過去每期的會刊贈送給本人，拿到會刊看到從設計到內容的品質高的真的令人嘆為觀止。而且每篇文章都用中文及日文刊出，也可以看出編輯的用心。其中又以三年前刊載的林校長、筑波大學永田校長以及台灣日本

的至寶王貞治先生的會談，讓本人閱讀了之後印象非常深刻。

棒球對談中也有提到田澤投手與筑波大學簽署的日本第一個合約，是由川村老師為首的體育專家的老師教授們來協助職棒選手的訓練「學術指導」的合約，至今已經有四年的時間，林校長也歡喜的感到與田澤投手非常有緣。

田澤投手也特地用中華職棒比賽用球簽了二顆簽名球贈送給林校長及筑波大學台灣辦事處(台北市)。本人也將本人與川村老師的共同著作「解決打者的直球的奧秘」贈送了一本給林校長。在世界各地能與筑波大學及棒球這個領域與有很深連結的人有緣結識，真的是非常榮幸。

最後在此向給予拜訪任務的川村老師、以及負責聯繫的余書農致上最深的感謝之意。(譯：余書農 體育專門學群 盛樂地野球訓練中心 總負責人)

NEWS & ANNOUNCEMENT

東京2020オリンピック・パラリンピックで、本学および附属校など在校生・卒業生が活躍。あわせて金メダル2個、銀メダル3個、銅メダル4個!!



木村選手 写真：松尾/アフロスポーツ



永瀬選手 写真：築田純/アフロ



梶原選手 写真：望月秀太郎/アフロ

オリンピックメダリスト・入賞者一覧

氏名	所属()内は現所属 ※卒業生は卒業年	最終順位/記録
●永瀬 貴規	体育専門学群2015年度卒 (船化産機株式会社)	【柔道男子81kg級】金メダル 【柔道男女道合団体戦】銀メダル
●梶原 悠未	大学院 体育学学位プログラム2年	【自転車競技/トラック 女子オムニウム】 銅メダル 110点
三宮 崇	体育専門学群2019年度卒 (川崎フロンターレ)	【サッカー男子】4位
榎本 蓮香	大学院 体育学専攻2年	【シンクロナイズトダイビング3m飛板飛込】 5位 269.40点
李 博	体育専門学群2012年度卒 (東レ株式会社)	【バレーボール男子】7位
熊谷 紗希	体育専門学群出身 (ドイツFCバイエルンミュンヘン)	【サッカー女子】8位
南 萌華	体育専門学群2020年度卒 (三菱重工浦和レッズレディース)	

パラリンピックメダリスト・入賞者一覧

氏名	所属()内は現所属 ※卒業生は卒業年	最終順位/記録
●木村 敬一	附属視覚特別支援学校高等部卒 (東京ガス株式会社)	【競泳男子】 100mバタフライ(S11) 金メダル 1:02.57 100m平泳ぎ(SB11) 銀メダル 1:11.78 200m個人メドレー(SM11) 5位 2:29.87
●高橋 利恵子	大学院 障害科学学位プログラム2年	
●天原 由真	附属視覚特別支援学校高等部卒 (株式会社マイテック)	【ゴールボール女子】銅メダル
●若杉 遥	附属視覚特別支援学校高等部卒 (ALSOK)	
●萩原 紀佳	附属視覚特別支援学校小学部卒 (国立障害者リハビリテーションセンター)	
●堀越 信司	附属視覚特別支援学校高等部卒 (西日本電信電話株式会社)	【陸上男子】マラソン(T12) 銅メダル 2:28:01
●藤原 大輔	体育専門学群2015年度卒 (三井住友海上火災保険株式会社)	【バドミントン男子】シングルス(SL3) 4位 【バドミントン混合】ダブルス(SL3-SU5) 銅メダル
●米岡 颯	附属視覚特別支援学校高等部卒 (三井住友海上火災保険株式会社)	【トリアスロン男子】(PTV)(視覚障害) 銅メダル 1:02:20
鈴木 徹	大学院 体育学専攻2017年度修了 (SMBC日興証券株式会社)	【陸上男子】走高跳(T64) 4位 1m88
高田 千明	附属視覚特別支援学校中学部卒 (津村の窓口グループ株式会社)	【陸上女子】走幅跳(T11) 5位 4m74
園部 優月	附属視覚特別支援学校高等部普通科3年	
寺西 一	附属視覚特別支援学校高等部卒 (株式会社GA technologies)	【5人制サッカー(ブラインドサッカー)】5位
黒田 智成	大学院 教育研究科2003年度修了 (都立八王子盲学校(教諭))	
川崎 悠太	附属視覚特別支援学校高等部卒 (アンクスタージャパン株式会社)	【ゴールボール男子】5位
瀬立 モニカ	体育専門学群4年	【カヌー/スプリント女子】 カセック200m(KL1) 7位 57.998
石浦 智美	附属視覚特別支援学校高等部卒 (伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社)	【競泳女子】 50m自由形(S11) 7位 30.85 100m自由形(S11) 8位 1:13.80 【競泳混合】 400mメドレー(49ポイント(視覚障害)) 5位 4:08.66
山田 拓朗	体育専門学群2013年度卒 (株式会社NTTドコモ)	【競泳男子】 4×100mドレーラー(34ポイント) 8位 4:29.85 200m個人メドレー(SM9) 8位 2:27.18

◎敬称略、順不同



米岡選手(右) 写真：長田洋平/アフロスポーツ

梶原選手 写真：西村尚己/アフロスポーツ



左から、萩原選手、天原選手、高橋選手、5人目若杉選手 写真：YUTAKA/アフロスポーツ



藤原選手(右) 写真：アフロスポーツ

台湾から帰国後3年間のドタバタ

文・大庭良介 (筑波大学医学医療系准教授 筑波大学国際局Campus-in-Campus・プラットフォームグループ長 筑波大学台湾留学生会顧問 筑波大学台湾オフィス前所長)

皆様こんにちは、ご無沙汰しております。2015年4月から2019年3月まで台北において台湾オフィス所長を務めておりました大庭です。台湾滞在中は校友の皆様に変にお世話になりました。このたびの台湾校友会会報第六号の発刊おめでとうございます。このように校友会活動が活発かつ継続的に続いていることを喜ぶとともに、校友の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

台湾校友会会報への寄稿を呼びかけていただき、せっかくですので帰国後3年間の私の活動を簡単に紹介させていただきます。筑波大学の国際活動の情報共有にもなるかと思えます。

マレーシアでの分校設立を目指して

皆様は、筑波大学が海外分校の設立を目指していることをご存知でしょうか？日本の大学としては初めて、文部科学省が認める学位を提供する海外分校です。マレーシア政府の要請を受けて設立検討を始め、マレーシア現地での設立に向けて準備を進めています。2019年4月から10月にかけて、私は本分校設立のFeasibility Studyを担当し、主にマレーシア現地で活動を調査とネットワークワーキング活動をしていました。3月24日に台湾から帰国後、3月29日にはマレーシア入りしているなど、ドタバタしていたことを

思い出します。新型コロナウイルスのパンデミックなどによって計画に遅れはでていますが、近い将来、筑波大学分校がマレーシアに設立したというニュースを皆様にお届けできればと思っています。

海外大学との戦略的パートナーシップ担当を引き継ぎ

筑波大学が進める海外大学との戦略的パートナーシップとして、Campus-in-Campus (CiC) と呼ばれるコンソーシアムがあります。現在、世界中に10校のCiCパートナー校があり、台湾では国立台湾大学がメンバーとなっています。CiCでは、互いのキャンパスにオフィスを設置し、学生や教員がそこを拠点に研究・教育・産学連携など様々な共同活動を展開していきます。例えば、CiCパートナー校の間では学生が自由に授業を受講し単位を取得できるようにする、といったことを目指しています。ちょうど、航空会社のマイレージカードのように、EVA航空の会員であれば、全日空に搭乗してもマイルが貯まる、といったような関係の構築です、と表現すれば分かりやすいかもしれません。実は、台湾オフィスが国立台湾大学の中に設置されているのも、このCiCに関する戦略的パートナーシップ協定を結んだことが大きな要因です。

私は、2020年4月から、CiC担当の前任者

離台歸日匆匆這三年

文・大庭良介 (筑波大學醫學醫療系副教授 筑波大學國際處Campus-in-Campus Platform Group執行長 筑波大學台灣留學生會顧問 筑波大學台灣辦事處前處長)

大家好，好久不見。我是2015年4月至2019年3月，派駐在台北的台灣辦事處擔任處長的大庭。駐台期間，承蒙各位校友諸多照顧，在此恭賀台灣校友會的會刊第六期順利付梓，對於校友會的活動能這樣持續地活躍下去，我深感喜悅，在此對各位校友的盡心盡力，獻上由衷的感謝。

此次台灣校友會會刊向我邀稿，藉此難得的機會，讓我簡單介紹回到日本後這

三年，與大家分享筑波大學在國際活動上的新動態。

設立馬來西亞分校之目標

不知各位是否知道筑波大學一直以設立海外分校為目標？而且是日本第一所以頒發由文部科學省認可的學位的海外分校。馬來西亞政府邀請我們到當地設立分校開始，筑波大學進行了各種準備。



大庭ゼミ
大庭研究室

の退官にともない、既存の10のパートナー校との関係強化、および、新たなCiCパートナー校の選定、といった役割を引き継ぎました。2020年度は世界中駆け巡るような生活になるだろうと覚悟していたのですが、新型コロナウイルスのパンデミックにより、人の物理的交流によって支えられてきた構想が崩壊し、ある意味、一からCiCについて考えなければならなくなりました。オンラインの活用は自然な流れとなり、現在に至るまでオンライン会議でのパートナーシップの維持と強化、そして、新規協定校の探索を実施しています。でも、まあ、直接対面しないと、本当の信頼関係を築くことは難しいですね。早く自由に海外渡航できるようになって欲しいと切に願っています。

筑波大学台湾留学生会顧問として

校友の皆様の多くは筑波大学在籍中に、台湾留学生会に関わられたのではないかと思います。2021年3月に長く顧問を務めてこられた体育系の真田久先生が退官されました。退官前の2020年度より、真田先生から、筑波大学台湾留学生会の顧問を引き継がせていただきました。新型コロナウイルスの影響でまったく活動できなかった時期もあると聞いていましたが、最近では少しずつ活動を再開していると聞いています。こちらに関しては特別な貢献ができていないわけではありませんが、筑波大学で学ぶ台湾の学生達を見守り、そして、台湾校友会や台湾オフィスとの繋ぎ役として何か貢献できればと思っています。

JV-Campusのプロジェクトリーダーとして

新型コロナウイルスの影響で、大学の

国際展開、教職員・学生の国内外の流動はとて大きなダメージを受けました。これは、筑波大学だけでなく、日本だけでなく、台湾だけでもなく、世界中が同じ状況です。その傷は今も深くなる一方です。日本の大学へ入学したけれど来日できず、オンラインのみで授業を受けている学生がとて多くいます。その中には、自身の将来キャリアに不安を持ち、日本の大学を退学する、という学生も出てきています。最近のオミクロン株の登場は来日を再度不可とさせ、細い希望の光でモチベーションを繋いできた待機留学生に大きな傷を残しています。国費留学生の中にはオミクロン株登場前に来日できた学生も多くいたのですが、私費留学は2021年12月現在来日できていません。

このような状況の中で、文部科学省がオンラインに着目するのはやはり自然であり、スーパーグローバル大学創成事業の一環として、2021年4月に全日本版の国際的オンライン教育プラットフォームを構築する事業を募集しました。このオンライン教育プラットフォームがJV-Campusです。このJV-Campus事業に筑波大学は応募し、そして、採択されました。2020年の内より、文科省側とも関連事業について意見交換していた私は、筑波大学における申請に関わり、そして、採択後はプロジェクトリーダーとして取り仕切ることになりました。2021年度は、このJV-Campusの構築と展開で、この寄稿を書いている今もドタバタしています。2021年10月にJV-Campus開設準備ポータルをオープンし、本格的なオンライン教育プラットフォームとして2022年3月1日にパイロット事業をスタート予定です。このJV-Campusでは、文部科学省の

2019年4月到10月間、我擔任設立分校のFeasibility Study，主要的工作就是在馬來西亞當地活動調查與跨業種的交流。我在3月24日從台灣回到日本，29日就飛到馬來西亞，現在回想起來當時的行程真的是十分緊湊。之後遇上新冠肺炎的大流行，致使計畫延宕，不過現在終於可以在此向各位宣布這個好消息，筑波大學即將在近期在馬來西亞設立分校。

持續負責與海外大學的戰略合作關係

筑波大學在推展與海外大學的戰略合作關係上，有一個稱為Campus-in-Campus(CiC)的聯盟。目前全世界有十所大學是我們CiC的盟校，台灣的國立臺灣大學就是其中的一所。CiC大學互相在對方的校園內設立辦事處，學生及教員透過此據點，開展研究、教育、產學合作等多元的共同活動。例如：我們致力於讓CiC盟校的學生，可自由選修其他所大學的課程，並互相得到學分之認可。就像航空公司聯盟之間，長榮航空的會員，乘坐全日空的航班也能累積哩程，以此類比，或許能讓各位更易理解CiC盟校的關係架構。其實，台灣辦事處設立於國立臺灣大學校內，就是因為締結了CiC戰略合作關係合約的緣故。

2020年4月開始，因前任負責CiC的教授退休，故現有的十所盟校間之關係強化，以及新加盟校的選定等工作，便由我接任。我原本就有覺悟2020年度會在國際間奔波忙碌的生活，但新冠肺炎的疫情蔓延，使得必須藉著人與人之間物理性交流來支撐的構想都崩壞了，但另一方面，也促使我不得不從零開始通盤思考CiC。自然地跨入更加活用線上的形式，透過線上會議維持並強化盟校間的夥伴關係，並探索

著如何開展與新加盟校之間的合作。但是無法直接面對面還是非常難以真正建立相互信賴的關係吧？我誠心祈願早日開放國際間的邊際管制。

擔任筑波大學台灣留學生會顧問

我想校友會的各位應該在筑波大學在學期間，都曾參與台灣留學生會吧？長久以來一直擔任台灣留學生會顧問的真田久教授，在2021年3月退休了。所以在退休前的2020年度開始，由我接任筑波大學台灣留學生會的顧問。受到新冠肺炎疫情的影響，聽說曾經所有的活動完全停擺，最近終於能夠漸漸重新開始舉辦活動了。對於台灣留學生會，我並沒有能力提供什麼特別的貢獻，只能像這樣守護著在筑波大學就學的台灣學生，並且希望能夠扮演連繫台灣校友會及台灣辦事處的角色。

JV-Campus的計畫主持人

新冠肺炎的延燒，重重的打擊了大學間的國際推展、教職員與學生的國內外流動。這個情況不只是筑波大學、不只是日本，也不只是台灣，全世界都一樣。而且這個傷害至今都還在加深。進入了日本的大學但是無法入境日本，只能上線上課的學生非常多，其中也出現了對未來的生涯規劃感到不安，而決定退學的學生。最近因為Omicron病毒的入侵，再一次的延長了無法入境日本的禁令，對於抱持著希望的微光等待赴日求學的待機留學生來說，再度造成莫大的傷害。在國費留學生中有些在Omicron病毒發現前得以入學，但私費的留學生則一直到現在都無法實現留日的願望。

在這樣的情況當中，文部科學省自然地開始積極著手於線上的發展，也是Super Global大學創成事業中的一個重要環節，在

イニシアティブのもと、多くの日本の大学が参加し、一緒に新たな教育を創り上げ、海外に向けて発信していくことを目指しています。2022年度は、海外からの大学の参画募集も開始予定です。日本の高等教育への入口となることを願いながら、そして、日本留学を希望する学生の光となることを願って、ドタバタと仕事をしています。

こんなドタバタだと、大学教員として本来すべき研究と教育は大丈夫なの？と心配される方もいらっしゃるかもしれません。ということで、次は、研究と教育の近況です。

健康情報総合学研究室を立ち上げ

2019年8月に私自身の研究室、健康情報総合学、という研究室を筑波大学医学医療系に設立しました。何その研究室は？という質問が多くなりそうですが、「世の中の健康に関する課題、特に、分野横断的な課題や、既存分野に紐づけできない課題を対象に、分野、手法、立場などに捉われずに切り込み、プロトタイプとなるモノコトやコンセプトを生み出すことで、課題解決や価値創出に繋がる方法論を世の中に問う」という指針で動かしています。私自身、もともと総合人間学部（京都大学）卒業ということもあり、「総合学の確立」が現在の研究活動の大きなテーマとなっています。如何にして「1+1」を「2より大きく」し、新たな学問分野を創出するのか、その方法論を研究し、新たな学問誕生の土壌を形成するのが総合学であろうと思っています。

もう一つ私自身が学生のころから抱いていた研究テーマが「科学を知り、科学を再考する」ということであり、私自身は「①

科学者コミュニティの活動を紐解く。②研究活動と科学技術の社会受容を理解する。③サイエンスコミュニケーションを実践する。④科学者として科学研究に参加する。⑤方法論としての科学を再考する。」といった活動を進めています。専門分野の枠など取っ払ってしまえ、という総合学の活動ですので、哲学・思想、人類学、歴史学、社会科学、情報科学、教育学、生命科学、栄養学、ビジネス、実践研究、伝統医学、武道、デザイン・アートなどなど、何でもござれという、専門分化したアカデミアには喧嘩を売っているような活動となっています。

このような活動の中で、2021年8月に『「型」の再考～科学から総合学へ』という著書を出版しました。武道など日本の伝統芸能で重視される「型」を再定義し、「非分析的な表現と伝達の方法」である「型」を、科学的手法を補完する方法として一般化する、ということをもとにした本となっています。こんな感じで、総合学を目指した方法論を研究するなどしています。

とはいえ、やはり既存の専門分野での国際誌論文が必要となるアカデミアの世界ですので、もともとの専門領域である生命科学や科学計量学の分野でも論文は発表し続けています。新型コロナウイルスによって、つくばに滞在し続けていたこともあり、2019年帰国後以降では、12本の国際誌掲載の論文を発表することができました。新型コロナウイルスも悪いことだけではないですね。家族と一緒にいる時間も増えましたし。

私の研究室ですが、現在は、大学院の修士課程である国際連携食料健康科学専攻



2021年4月、開始招募全日本版的國際線上教育平台的建置事業。這個線上的教育平台稱之為JV-Campus。筑波大學也參加了JV-Campus事業的招募，並且榮獲採用。2020年間，我與文科省的相關事業有許多意見交換，所以加入了籌備工作，計畫通過後，承擔起計畫主持人的重責大任。因此2020年度，因為這個JV-Campus的建置和拓展，以致於連撰寫此文的這個時候，我都風風火火為此奔忙。2021年10月JV-Campus啟動了開設準備的入口網站，也正式在2022年3月1日成為線上教育平台事業的先趨。JV-Campus以文部科學省的先導為基礎，邀請日本的各大學協同參加，一起為開拓新的教育而創新，以向世界各國傳播為目標。2022年度也即將開始邀請海外的大學一同參與企劃。我祈願此平台能成為日本高等教育的入口，成為夢想留日的學生的一道光，我願意為此而辛苦工作。

在這樣繁重的工作下，不免有人為我擔心，不知我在大學教授的本業——研究工作上，都還順利嗎？所以接下來，我就來跟各位聊聊我在研究與教育上的近況。

創立健康情報総合学研究室

我在2019年8月在筑波大學醫學醫療系，創立了自己的研究室，稱之為健康情報総合学研究室。到底是怎樣的研究室呢？我想有此疑問的朋友應該不少。我創立研究室的主旨為「以世上與健康相關的課題，特別是跨領域的、與既有的分野無法連結的課題為對象，不受限於分野、手法、立場等，產生出事物或概念的原型，向世人提出與解決課題或創造價值相關的方法論」。我自己本來就是從京都

大學的總合人間学部畢業的，所以「總合學的確定」原本就是至今的研究活動中很大的一個主題。如何讓「1+1大於2」，是創造新的學門分野

嗎？我研究這些的方法論，也認為總合學就是讓全新的學問誕生形成的土壤。

另外一個我從學生時代就一直涉獵的研究主題就是「懂科學，並重新思考科學」。我自己持續地在邁進的研究是：「①解構科學社群的活動。②理解研究活動與科學技術的社會包容力。③實踐科技傳播學。④以科學學者的身分參加科學研究。⑤重新思考方法論的科學。」因為打破專門分野的框架就是總合學的活動，所以舉凡哲學思想、人類學、歷史學、社會科學、情報科學、教育學、生命科學、營養學、商學、實踐研究、傳統醫學、武道、設計、藝術等等，好像可以說是萬能的一樣，挑釁那些已經分化的專門學術領域。

就在這樣的研究活動中，我在2021年8月出版了拙作：『「型」の再考～從科學到總合學』，書中我重新定義了像武道這樣的日本傳統的藝能中很重視的「型」，將「非分析的呈現與傳達的方法」之「型」的概念，用科學的手法來補足，目的是使其得以普遍通用。就像這樣的感覺，我以總合學為目標的方法論作為我的研究。

不過話雖這麼說，在既有的專門分野中，國際論文在學術的世界中還是非常之必要的，所以在我原本的生命科學及科學計量學的專門領域上，也持續發表論文。在新冠肺炎蔓延這期間，我不得不滯留在筑波，但從2019年回日本後起算，我在國際上發表了12篇的論文。所以說新冠疫情帶來的也不是只有壞的影響，除此之

の学生を主に迎え入れています。この専攻は、私が台湾滞在当時に立ち上げに関わった、国立台湾大学、ボルドー大学（フランス）、そして、筑波大学の三大学が共同で運営する所謂ジョイントディグリープログラムです。それぞれの大学から入学した学生が、一緒に三大学を半年づつ巡って、食と健康に関わる学習と研究をする、ということが特徴の修士課程です。残念ながら、新型コロナウイルスの影響により、台湾とフランスの学生は筑波大学に来日して学習することができていません。今年度は筑波大学の学生が台湾へ渡航することもできませんでした。三カ国を巡れることを一番の魅力に感じて学生は入学していますので、オンライン対応だけではどうしても消化不良となってしまいます。私自身、この修士課程のカリキュラム委員長という立場から、なるべく学生同士が交流できるように

外也让我增加了許多和家人相處的時間。

我現在研究室學生主要是來自國際聯合食品健康科學專攻的研究所碩士班課程。這個專攻是我在駐台期間協助成立的，與國立臺灣大學、法國波爾多大學，以及筑波大學三校協力組成之國際三聯碩士學位學程。這個學程的特色是，從這三所大學入學的學生，會一起以半年為單位，巡迴三所大學，學習與食品和健康相關的課程並從事研究。很可惜因為新冠肺炎的影響，台灣與法國的學生都沒有辦法到日本來，今年筑波大學的學生也無法入境台灣，報考此學程的同學應該都是因為能巡迴三校的這個魅力，但可惜我們只能以線上課程的方式來進行，但很難避免的是似乎已經造成了學習上的消化不良。我以這個碩士課程的課程委員長的立場，

カリキュラムを組んでいるつもりですが、やはり限界があります。こちらでもヤキモキし、ドタバタしている毎日です。

ということで、私の台湾から帰国後3年間のドタバタをお届けしました。私の仕事の紹介だけでしたが、何となくコロナで制限がある中でも筑波大学は国際展開を頑張っているのだ、そして日本に興味を持つ学生を大切に思っているのだ、ということが伝わっていれば嬉しく思います。

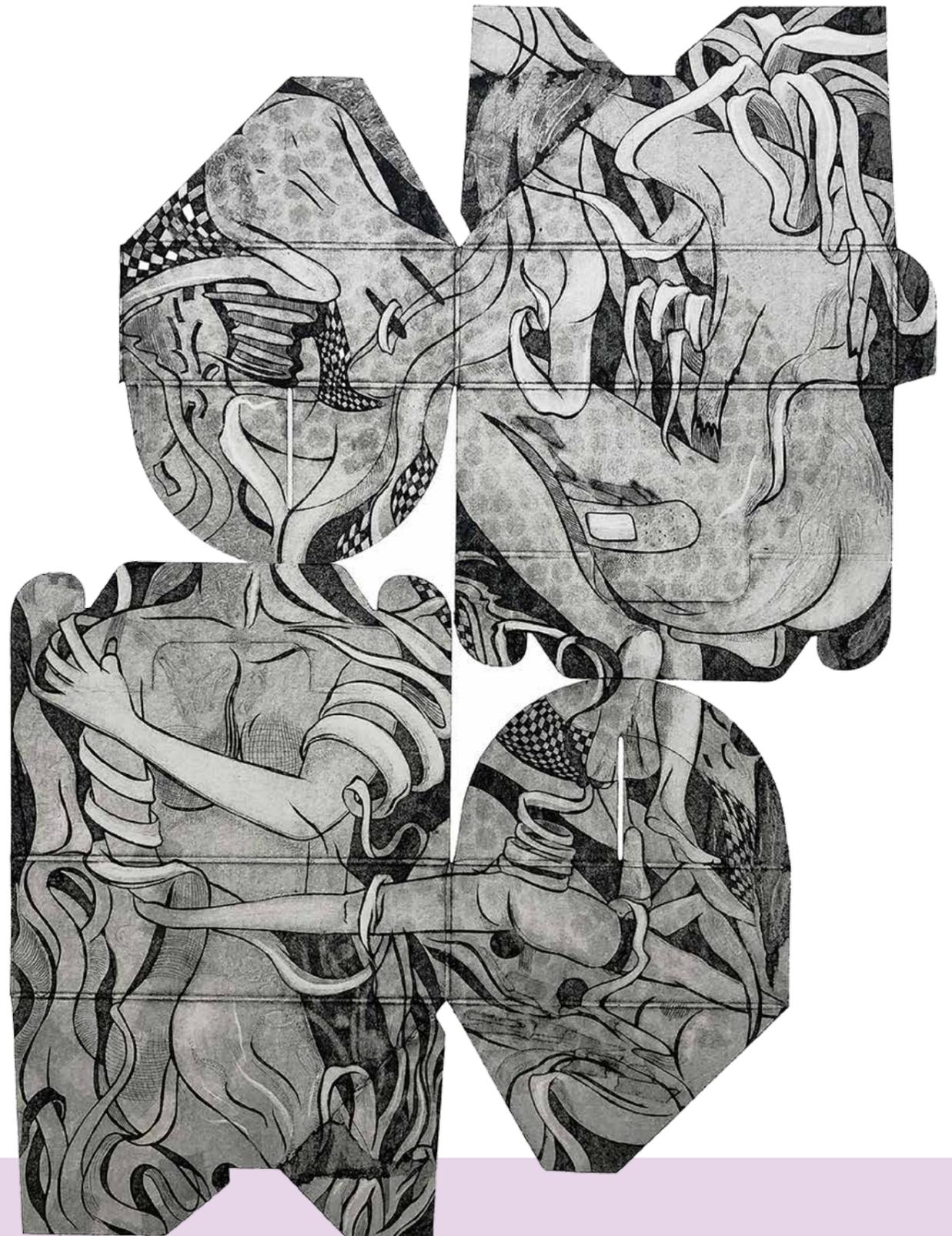
最後になりますが、台湾滞在中からお世話になり、本年惜しまれながらもご逝去された蔡茂豊先生と許水徳先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。そして、一日も早く新型コロナウイルスが収まり、皆様とも自由に会える日が来ることを切に願っています。2021年12月23日。筑波大学の健康情報総合学研究室より皆様の健康を祈りながら。

希望盡可能的設計讓學生能相互交流的課程，但不管怎麼設計，線上課程還是有其突破不了的極限，這也讓我的每天有些焦躁忙亂。

和各位聊了這些我從台灣回到日本之後的這匆匆三年，除了介紹我的工作內容，也希望以此文傳達我的心意，希望大家能了解，就算在新冠疫情的限制中，筑波大學還是努力地推動國際事務上的擴展，一樣十分重視對日本有興趣的國際學生。

最後，我在駐台期間，承蒙逝去的蔡茂豊先生與許水徳先生諸多照顧，不勝感激，祈禱故人靈魂安息。並深切期望，新冠肺炎疫情早日緩解消弭，大家能自由來去，歡喜重逢。2021年12月23日，我在筑波大學的健康情報總合學的研究室，祝大家身體健康。

（譯：林佳瑤 筑波大學台灣辦事處）



Spring Box

版画の中から自分を探し出す

文・鐘翊綺（人間総合科学研究科 芸術専攻 台北市立大学兼任教師 駐校芸術家）

私はこれまで生活の過程をテーマとして制作を行ってきた。例えば、距離を移動する過程、或いは時間の経過によって変化する過程など、版画を用いて全ての生活を記録してきた。そして、版画制作と私の生活は不可分な関係にあることを感じ、版画で版画の制作過程を表すことができるだろうか考えるようになった。また、制作過程において様々な効果を試すことや偶然が引き起こす表現に対する驚きは、版画制作の中で私が最も魅力を感じる場所だ。しかし、版画作品を制作するにあたって制作過程の魅力を表現するのは難しいと感じている。もし制作過程を明確に伝えてしまったら、出来上がったものは作品ではなくて、教科書のようなものになる恐れがあるから

だ。そのため、そのバランスのとり方をいつも考えてきた。筑波大での二年間では、制作過程を作品に取り入れたアーティストを調べ、自らの創作の参考資料とした。

銅版を専門とするの中林忠良先生の展覧会で、幸いにもご本人の講演を聞くことができた。作品《Transposition—転移—III 腐蝕過程I》は、銅版を腐蝕液に2時間ずつ腐蝕し、だんだん小さくなっていく過程を表したものである。先生はこの作品を自分の人生に例え「僕も歳月が経るごとに、腐蝕されて少しずつ腐っていくのだろうか。」と話していた。先生は自然に語っていただけ、それは私にとってすごくショックだった。彼は版画の制作過程を人生の比喩として使っており、それはまた、版画制作は一生の課題であることを私に理解させた。

在版畫中找到自己

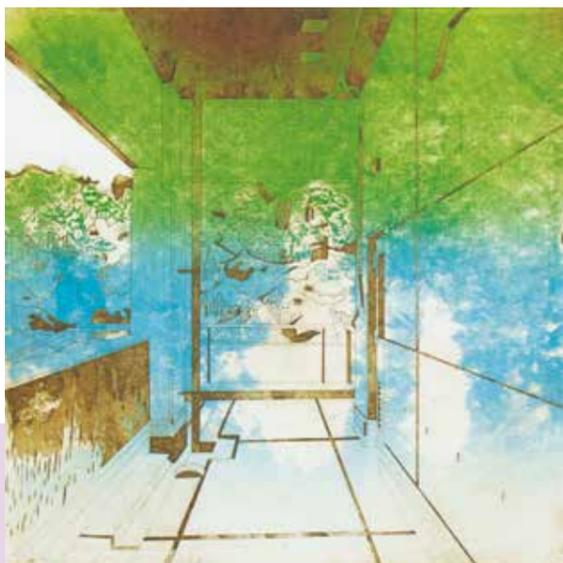
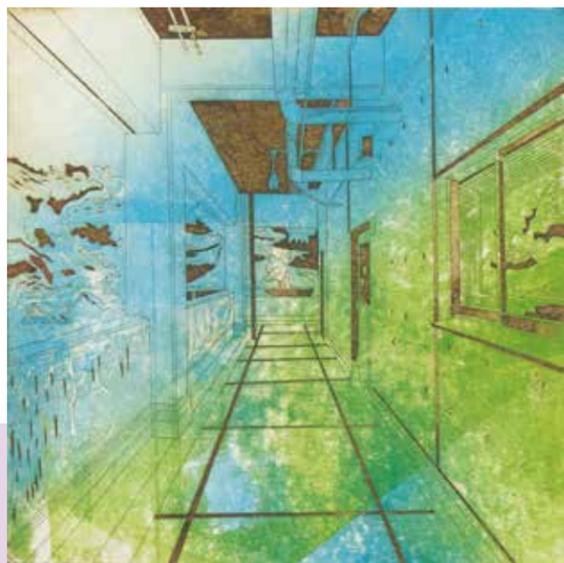
文・鐘翊綺（人間総合科学研究科 芸術専攻 台北市立大学兼任教師 駐校芸術家）

到目前為止的作品都是以生活的過程為主題，例如距離移動的過程，又或者是因經過時間而有所變化的樣子等等。用版畫記錄我全部的生活。然而，做版畫已與我的生活密不可分，所以我開始思考是否能用版畫作品來呈現版畫的製作過程。加上，在版畫創作的過程裡各式各樣的實驗和偶然間得到的效果，是我覺得版畫最有魅力的地方。但是，要將版畫製作過程中的這種魅力展現出來是很困難的。困難之處在於一不小心將這些過程講述得完整而清楚的話，就會變成教學，而非創作。所以如何在這之間取得平衡是我一直在思考的事情。利用在筑波讀碩士兩年的時間調查了一些將版畫表現融入於作品的藝術家，作為自己創作的學習對象。

在一次蝕刻銅版畫大師——中林忠良老師的展覽中，很榮幸地能聽到老師介紹自己的作

品《Transposition—移—III 腐蝕過程I》，這作品是將銅版每兩小時腐蝕一次，銅版漸漸地變小。中林老師用這件作品來比喻自己的生命，說著自己是否也因為歷經歲月而一點一滴地腐朽著。老師很自然地講述著這件事，對我來說卻是當頭棒喝。他用版畫的製作過程在比喻生命，也讓我瞭解到創作是一輩子的事。

在碩士的這兩年中，無數個因為想作品睡不著的夜晚，時常看著空白的版子就會問自己到底為何而創作？為何非做不可？但在這無數個與版子對談的日子中，漸漸地明白到我不是為什麼而創作，而是創作已經變成我生活的一部分。用自己的方式為自己的生命留下足跡。做版畫其實就像過日子，每天好像都在重複著一樣的事情，但因為一些偶然而使每一天都不一樣。而這些層層堆積出來的記憶成為了現在的我們。



Beyond the end

校友紹介

修士の二年間、制作のことを考えて眠れない夜が何日もあった。真っさらな版を目の前にして、なんのために制作しているのか？なぜそれをしなければならないのか？という疑問がずっと頭の中を巡っていたものだ。しかし、版と話し合ったこの数え切れないほどの日々の中で、私は自分が何のために制作しているのかではなく、制作することそのものが私の人生の一部になって

いることに徐々に気がついていった。自分の方法で自分の人生に足跡を残す。版画を制作することは、実は人生を生きるようなものである。毎日同じことを繰り返しているように見えるが、偶然のできごとによって毎日が異なる。そして、全ての記憶が重なり合って今の私たちが形成されているのだと思う。(訳：日高衣紅 人間総合科学研究科 博士後期課程 芸術専攻)



初心忘れるべからず／呵護初心
第8回山本鼎版画大賞展 入選



鐘翊綺版画作品 修了日誌 638
筑波大學 芸術専攻優秀作品賞

筑波大学書道専攻の経験

文 ● 沈伯陽（人間総合科学研究科 博士前期課程芸術専攻 書領域）

現在私は書道の分野の博士前期課程で学んでいます。研究生時代を含めると、早いもので筑波での生活も3年になりました。日本に来たばかりの時は右も左もわからずドギマギしていましたが、今は日本語で二本の論文を書けるまでになりました。手前味噌ながら、筑波大学は確かに専門の知識と外国語能力を養ってくれる場所だと言えます。



鬼怒川での友人との論書
於鬼怒川與友人論書

きます。

言うまでもなく、こんなすごいことづくめの筑波大学の書道専攻の課程に入るのは容易いことではありませんが、不可能でもありません。書道の博士課程に入った台湾人は私の他にも5人いて、卒業生には台北故宮、芸術大学で教壇に立つ等、国内で活躍しています。

そのようなわけで、書道に興味のある方には、筑波大学の書道専攻を強くお勧めします。不定期でアジアの著名な大学や美術館の学者を広くお招きしたシンポジウムを開催しており一般公開もされています。読者の皆様も機会があれば是非ご参加いただき、台湾と日本の学術交流と絆を更に深められたらと思います。（訳：服部美貴 日本語・日本文化学類／地域研究研究科 台湾大学日本語文学系講師）



筑波大學書道専攻之淺抒

文 ● 沈伯陽（人間総合科学研究科 博士前期課程芸術専攻 書道領域）

本人目前攻讀於的書法領域的博士前期課程。加上此前研究生的就讀年數，時光荏苒，迄今已在筑波過三年矣。從剛開始到日本的生澀膽怯，到如今已用日文發表了二篇期刊，老王賣瓜的說，筑波大學確確實實的培養了我專業知識與外語技能。

說到我的專業，或許另聽者為之一震，不知為何專程遠赴扶桑來學習書法這門學科？誠然，言及書法，大家總覺得這是中華兒女的獨有藝術，然而其實自唐代以來，「書道」這一風尚便在日本落地生根，其漢學的涵養深度於臺灣有過之而無不及。而提到日本大學中的書法專業，就不得不提起筑波大學了。身為日本最古老的大學之一，其漢文化的知識儲備量，就算置之亞洲圈也可謂首屈一指。窺其師

資陣容，從大書法家今井凌雪到前年退休的中村伸夫先生，以及我的指導老師菅野智明教授，各個都是研究界乃至書壇的佼佼者。海內外對此多有讚揚，為避自播之嫌，就不多費筆墨於此了。

在這些光環之下，無庸置疑要進入筑波的書法專攻確實有一定的難度，然並非不可能。除去本人，歷屆進入書法博士課程就讀的台灣人尚有五人。畢業生之中，不乏有在台北故宮、藝術大學任教者，國士之風可見一般。

因此，對於書法有興趣之同好者，我十分推薦您就讀本校之書法專業。敝系也會不定期舉辦研討會，廣邀亞洲各名校、美術館之學者。由於所有活動皆是向大眾公開，期望讀者們能有機會共襄盛舉，促進台日學術圈之間的交流與羈絆。



日本の先生から古典書道を学ぶ
向日本先生學習古典書法

Japan-Expertプログラムでの学び

文・羅媛 (Japan-Expert プログラム)

Japan-Expertプログラムには日本芸術、日本語教師養成、ヘルスケア、アグロノミスト養成の4つのコースがあり、私はアグロノミスト養成コースで学んでいます。このプログラムは入学後の半年間にJapan-Expertプログラム専用の日本語の授業があり、レベルと専門によって分けられたクラスで集中的に日本語を学ぶことによって、その後学類に入って日本人学生と一緒に日本語で授業を受ける段階にスムーズに移行し、効率的に学習できるようになっています。

学類の授業を受けるようになってからは決して楽ではなく、更にコロナ禍での勉強は更に大変でした。しかし、生物資源学類の専門領域は幅広く、また筑波には多くの

バイオテクノロジーセンターがあって先端の研究現場が近くにあるおかげで、防疫対策を十分にした上で高いレベルの学習を続けることができます。

更に、筑波大学は研究学園都市の重点大学であるため、科学の研究や実習の機会にも恵まれています。Japan-Expertプログラムでも日本でのインターン制度があり、日本での就職に繋がりがやすくなっています。海外にいて日本での就職に興味がある方、特に生物環境関連分野を学びたい方には、筑波大学を是非お勧めしたいと思います。(訳：服部美貴 日本語・日本文化学類卒/地域研究科日本語コース修了、台湾大学日本語文学系講師)

留學心得

文・羅媛 (Japan-Expert Program)

很慶幸能夠加入到Japan-Expert，我們有四個課程，分別關於藝術、日本語教育、看護學以及生物資源農學。我就讀於生物資源農學相關領域，在進入學系前，我們有半年的集中日語課程，依照程度及專攻分班，讓我們在之後銜接系上課程時能更好的融入。也因此作為留學生，我們卻能夠直接使用日語跟日本人同儕一起上課而無隔閡，讓在日本的學習更有效率。進入學類之後的學習並不輕鬆，疫情下的

學習更是困難，但是生物資源學類的領域廣泛，筑波更有許多生技中心能夠讓我們更親近先端研究現場，在充足防疫之下仍能持續較高品質的學習。此外，筑波大學作為筑波科技城中的重點大學，在科學研究及實習也有很多的機會，Japan-Expert學程也會安排日本在地的實習，使我們更好銜接當地的就業。對於在海外且對日本就職有興趣，特別是生物環境相關領域的學習，筑波大學是個不錯的選擇。



日本マインドをもった留学生を育てるための
学士課程プログラム

入学者募集!

日本で働きたい、日本と関わる仕事がしたいと思っ
ている留学生のために、集中的な日本語と専門分野の
教育を行うJapan-Expert (学士)プログラム(4年間)
を設けました。将来、日本とあなたの国を結ぶスペシャ
リストを育てるためのプログラムです。

日本が好き 日本で学びたい 日本で働きたい

スペシャリストを応援する4つのコース

入学後、半年間集中的に日本語を学びます

日本語能力試験N3、N2で受験できます

アグロノミスト養成コース 取得学位：学士(農学)



● 農業・林業に関する専門的な知識を身に付ける。
<就職先・進学先>
農業・林業の分野での研究者・技術者、
日本国内、国外での就農・指導者、
グローバル企業や農業関連企業
大学院への進学など

ヘルスケアコース 取得学位：学士(ヘルスケア)



● ヘルスケア分野の専門的な知識を身に付ける。
<就職先・進学先>
ヘルスケア分野の政策担当者・管理者、
研究者・教師、
健康管理関連企業の開発技術者
大学院への進学など

日本芸術コース 取得学位：学士(芸術学)



● 日本の伝統芸術を広める教師やアーティスト、デザイナー、芸術に関するスペシャリストを育てる。
<就職先・進学先>
教師、アーティスト、デザイナー、企業、行政、自治体、
大学教員、学芸員、研究員
大学院への進学など

日本語教師養成コース 取得学位：学士(日本語教育)



● 日本語の実践的な能力を高める。それを支える日本語・日本文化への理解を深める。
● 外国人のための日本語教師養成
<就職先・進学先>
日本語教師養成の指導者、教師、企業、
日本国外の日本語学校
大学院への進学など

入試スケジュール ★ウェブサイトより申し込み

出願期間 / 2021年3月1日 ~ 4月2日
入学試験 / 2021年5月10日 ~ 5月14日
入学日 / 2021年10月1日

筑波大学Japan-Expertプログラム事務局

メールアドレス: jp-expert@un.tsukuba.ac.jp
ウェブサイト: https://jp-ex.tsukuba.ac.jp
★詳しくはウェブサイトをご覧ください。

筑波大学台湾オフィス便り

文・阿部淳一ピーター

台湾校友会の皆様、お変わりございませんか。会報第6号の発行、おめでとうございます。いつも皆様のお力添えをいただき、筑波大学側から国際室日比生氏と台湾オフィス担当陳祥氏のサポートによりスタッフ林佳瑤氏とともにこれからも台湾オフィスの活動を進めて参ります。

—昨年からコロナ禍のため、それぞれの国の水際対策により渡航は非常に困難になりました。日本への入国希望の留学生は、留学ビザが発給されず、自国に留まっているケースが急増しています。現在、筑波大学に入学したが、台湾で留学ビザの発給を待つ待機留学生（未渡日外国人留学生）が20数名にも及びます。大学としてあの手この手を使ってこの問題の解消に奮闘していますが、現在、日本で感染急拡大している新型コロナウイルスのオミクロン株が治る目処がつかない限り、入国制限の緩和は難しいと思います。今回、台湾オフィスの呼びかけと台湾校友会と筑波大学台湾人留学生会のご協力により待機留学生5名が初めての「台湾待機留学生の集い」（2022年1月14日、国立台湾大学構内）に参加してくれました。今回の集いの狙いは台湾待機留学生同士と先輩方との情報交換や筑波大学への要望などの場を設けることでしたが、和やかに楽しくあっという間に2時間が経ちました。次は、第7回目

の台湾校友会の総会の参加に台湾待機留学生をお誘いしています。

日本の多くの大学において2年前まで卒業や修了の際、いくつかの学位から1つを選択して取得することができましたが、文部科学省の働きにより従来のように学類や研究科のような組織に着目した大学制度ではなく、学位の取得を目指す学生の学修の視点に立って、学位のレベルと分野に応じて達成すべき能力を取得するように体系的に設計された、学位プログラムの実施に着目した大学制度（学位プログラム制度）の再構成を各日本の大学で進めてきました。本学において、大学院の〇〇〇研究科や〇〇〇専攻がほぼ消え、〇〇〇学術院、〇〇〇研究群や〇〇〇学位プログラムと名称が再構成されました。かなり複雑に大学院のみ変更しましたので、修了した大学院の名称がどのように変更したかご興味のある方は<https://www.tsukuba.ac.jp/education/>をご覧ください。筑波大学は引き続き「筑波大学基金」（<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>）のご寄付を校友会の皆様から承っております。

台湾オフィスは今後もご質問・ご意見などを受け付けていますので、ご遠慮なく、お問合せください。今後とも校友会の皆様のご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。



筑波大学台湾辦事處

文・阿部淳一Peter

台湾校友会の各位朋友，別來無恙？一切可好？在此先恭賀校友會會刊第六期的順利發行。長久以來都承蒙各位校友的支持，筑波大學國際處の日比生先生、負責台灣事務的陳祥小姐、台灣辦事處的林佳瑤小姐以及我，才能共同合作推動台灣辦事處的活動。

從二年前新冠肺炎的疫情爆發，各國開始實施禁止外國人入境的邊境政策後，出國變得非常困難。因為暫停發行留學簽證的關係，越來越多想入境日本的留學生，都不得已而只好滯留在各國。目前為止，得到筑波大學的入學許可但仍留在台灣等待簽證發行的台灣學生(稱之為未渡日外國人留學生)約有二十幾位。為了解決這個問題，雖然大學也用盡了各種管道，但因為目前日本再次面臨了疫情的擴大，所以在最新變異株奧密克戎(Omicron)的傳播尚未緩解的情況下，我認為開放入境的管制還很困難。這次由台灣辦事處主辦，台灣校友會及筑波大學台灣留學生會所共同舉辦的「台灣待機留學生暖心聚會」（2022年1月14日、地點在國立臺灣大學校內），有五位同學來參加。期望在台灣的這些待機留學生能藉此機會相互認識，交換情報，也能直接向我們表達對筑波大學校方的意見。活動當天在歡樂和諧的氣氛中，很快地二個小時就過去了。然後台灣的待機留學生們，也均受邀參加第七次的台灣校友會總會。



台湾待機留學生の集い
台湾待機留學生暖心聚會

二年前日本有不少的大學制度是在畢業時，可以在若干學位中擇一取得。但在文部科學省的推動下，現今日本各大學都朝著重新構築制度[學位學程制度]的方向進行，也就是舊制學類和研究科之類的組織都將重整，以取得學位為目標的視角切入，設計以學位的層級與各分野應具備的能力為取得學位的新體系。所以本校的大學院中的〇〇〇研究科、〇〇〇専攻等都將消失，重整為〇〇〇學術院、〇〇〇研究群、〇〇〇學位學程。因此大學院變得更加複雜，而修了後的大學院將變成什麼名稱？歡迎有興趣的朋友點進以下連結查詢。<https://www.tsukuba.ac.jp/education/>
另外，「筑波大基金」（<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>）持續在校友會進行募款活動。

若有相關的問題及意見，請不要客氣向我們詢問。再次感謝校友會各位的厚愛，靜候諸位校友的指導與鞭策。（譯：林佳瑤 筑波大學台灣辦事處）



<https://www.tsukuba.ac.jp/education/>



<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/>

筑波大学台湾校友会規約

- 【名称】**
第1条 本会は「筑波大学台湾校友会」と称する（英語名は University of Tsukuba Taiwan Alumni Association とし、UTTAA と通称する）。
- 【趣旨】**
第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、日台両国の相互交流と友好発展に寄与することを趣旨とする。
- 【活動】**
第3条 本会は、第2条の目的を達成するため、名簿作成、校友及び筑波大学との交流協力、親睦会、その他、会員が提案する活動などを行う。
- 【会員】**
第4条 本会は、下記の該当者で構成する。
(1) 筑波大学または前身となる大学の学群・大学院の卒業・修了者
(2) 筑波大学に学位請求論文を提出し学位を認定された者
(3) 一ヶ月以上筑波大学に在籍し学習・研究等を行った者
(4) 一ヶ月以上筑波大学に滞在し教育・研究等に從事した者
(5) 本会の入会希望者は、幹事会の定めるところにより入会の申し込みを必要とする。
- 【賛助会員】**
第5条 本会の発展に多大な貢献のあった者及び本会の趣旨に賛同する者で、会長・副会長等が認める者は賛助会員となることできる。
- 【退会】**
第6条 会員は個人の事情でいつでも退会できる。
- 【総会】**
第7条
(1) 総会はすべての会員をもって構成する。
(2) 総会は次の事項について決議する。
一 会員の除名
一 会長、副会長の選任または解任
一 会則の変更
一 会計監査の承認
(3) 総会は定時総会として年1回開催するほか、必要がある場合に開催する。
(4) 総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。
(5) 総会の議長は会長がこれに当たる。
(6) 総会における議決権は、会員1名につき1票とする。
(7) 総会の決議は総会出席者の議決権の過半数をもって行う。
(8) 会員は代理人によってその議決権を行使することができる。
(9) 総会への発議は幹事会を通しておこなう。
(10) 総会の議事については、議事録を作成し、議長が署名押印する。
- 【役員】**
第8条
(1) 本会は役員として会長1名、副会長若干名、幹事長を置く。
(2) 本会は名誉会長、名誉副会長及び顧問を置くことができる。
(3) 会長、副会長は総会の決議によって選出する。
(4) 顧問は幹事会によって選任する。
(5) 名誉会長、名誉副会長は幹事会によって推薦され、総会の承認を持って選任する。
(6) 会長は幹事会を組織し、本会の活動を管轄する。
(7) 副会長は会長の職務を補佐し、会長が職務遂行し

- ねるときにその職務を代行する。
(8) 会長、副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 【幹事会及び事務局】**
第9条
(1) 本会の運営のため幹事会を置く。
(2) 幹事会の事務局を筑波大学台湾オフィスに置く。
(3) 幹事会は、会長、副会長、事務局長、副事務局長若干名および事務局員、筑波大学台湾オフィス構成員より構成される。
(4) 事務局長は、会長によって選任する。
(5) 事務局長は、副事務局長、事務局員を選任する。
(6) 幹事会は、次の活動を行う。
一 本会の活動執行の決定
一 本会の会計監査
一 事業報告書の作成
一 総会の開催
一 会員名簿の管理
一 筑波大学との連絡調整
一 会員からの意見をとりまとめ、会則、附則変更などを総会へ発議する
- 【会費】**
第10条 本会の会費は附則に定める。また、総会開催など実際の活動内容に合わせ、適宜徴収もしくは厚志を募るものとする。
- 【会計】**
第11条
(1) 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり12月31日に終わる。
(2) 本会の会計は事務局にて管理し、幹事会はこれを監査し、総会の承認を得る。
(3) 本会に納められた会費および寄付は税金控除の対象とはならない。
- 【除名】**
第12条 会員が本会の目的に逸脱する行為又は本会の名誉を傷つける行為を行ったときは、幹事会の議決を経て、その資格を失う。幹事会は総会に報告する。
- 【会則の発効】**
第13条 本規約は2016年2月20日に校友会設立式で可決され、2016年2月20日より発効する。
- 【規約改正】**
第14条
(1) この会則は総会の議決によって変更することができる。
(2) 本規約の解釈権は幹事会に属する。
- 【附則の取扱い】**
第15条
(1) 本会則は会則に矛盾しない限りにおいて本会の運営のために附則を置くことができる。
(2) 附則は総会の議決によって変更することができる。
- 附則
1 本会の最初の会長は林華章とする。
2 本会の最初の副会長は潘進丁と邱若山とする。
- 附則
【会費】
第1条
(1) 本会の入会金を1000台湾ドルとし、入会時に一度支払うものとし、終身会員となる。

筑波大學台灣校友會章程

- 【名稱】**
第一條 本會名稱爲「筑波大學台灣校友會」（英文名稱爲 University of Tsukuba Taiwan Alumni Association，英文縮寫爲 UTTAA）。
- 【宗旨】**
第二條 本會之宗旨在於服務會員，增進會員之間的友誼，期能對台日兩國之間的國際交流有所貢獻。
- 【活動】**
第三條 本會為達成第二條之目的，將致力於會員名冊的製作、校友間的以及與筑波大學之間的交流，舉辦聯誼會及會員提議之活動。
- 【會員】**
第四條 本會會員由以下成員組成：
(1) 在筑波大學或東京文理科學大學、東京教育大學、圖書館情報大學之大學部或研究所畢業者
(2) 向筑波大學提交論文獲得學位者
(3) 在筑波大學從事學習或研究一個月以上者
(4) 在筑波大學從事教育或研究一個月以上者
(5) 完成秘書處所訂之入會申請程序者。
- 【贊助會員】**
第五條 對本會的發展做出重大貢獻及贊同本會宗旨者，經本會會長、副會長等合議後，可成爲本會贊助會員。
- 【退會】**
第六條 會員可自主隨時退會。
- 【總會】**
第七條
(1) 總會由所有的會員所組成
(2) 總會將決議以下事項：
一 會員之除名
一 會長、副會長的選任或解任
一 會則之變更
一 會計監查之承認
(3) 總會定期一年召開一次，必要時可加開臨時會。
(4) 總會以幹事會的決議爲基礎，由會長召集。
(5) 總會的議長由會長擔任。
(6) 總會的決議權，每位會員各一票。
(7) 總會之決議須出席會員之半數以上同意始爲有效。
(8) 會員的決議權行使可委託代理人。
(9) 總會的新議題將透過幹事會提案。
(10) 總會的議事將做成會議記錄，由議長簽名蓋章。
- 【幹部】**
第八條
(1) 本會的幹部將設置會長1名、副會長若干名、並設置秘書長。
(2) 本會可設置名譽會長、名譽副會長以及顧問。
(3) 會長、副會長由總會之決議選出。
(4) 顧問由幹事會推薦聘任。
(5) 名譽會長、名譽副會長由幹事會推薦，總會認可後任之。
(6) 會長組織幹事會，並管理本會之所有活動。
(7) 副會長協助會長執行會務，於會長無法出席時，代其職務。
(8) 會長、副會長的任期二年，可連選連任。

- 【幹事會及秘書處】**
第九條
(1) 為維持本會的營運設置幹事會。
(2) 幹事會之秘書處設置在筑波大學台灣辦事處。
(3) 幹事會由會長、副會長、秘書長、副秘書長若干名、幹部及筑波大學台灣辦事處之成員所組成。
(4) 秘書長由會長選任。
(5) 副秘書長、幹部由秘書長選任。
(6) 幹事會將執行以下之活動
一 本會活動執行之決定
一 本會之會計審查
一 事業報告書之作成
一 總會之召開
一 會員名冊的管理
一 與筑波大學之聯絡調整
一 統整會員之意見，向總會提出章程及附則變更之提案
- 【會費】**
第十條 本會之會費依附則所定。另外，配合召開總會等實際活動內容之需求，得收取費用或募捐。
- 【會計】**
第十一條
(1) 本會的會計年度，由每年的一月一日開始至十二月三十一日爲止。
(2) 本會的會計將由秘書處管理、由幹事會監督、經總會認可後向所有會員公開。
(3) 本會繳納之會費與捐款均無法提報列舉扣除稅額之用。
- 【開除】**
第十二條 違背本會宗旨或損害本會聲譽之會員，經幹事會表決通過，提交總會議決，取消其會員資格。
- 【章程的生效】**
第十三條 本章程於2016年2月20日校友會成立大會通過，自2016年2月20日起開始生效。
- 【章程修改】**
第十四條
(1) 本章程可依總會之決議而修改之。
(2) 本章程之解釋權屬於幹事會。
- 【附則之運作】**
第十五條
(1) 在不與本會則相矛盾的情況下，可依本會的營運需求，設置附則。
(2) 附則在總會決議後可變更。
- 附註
(1) 本會最初之會長，由林華章先生擔任。
(2) 本會最初之副會長，由潘進丁及邱若山先生擔任。
- 附則
【會費】
第一條
(1) 本會入會費爲新台幣1000元，入會時一次支付，即可成爲終身會員。

編集後記

文 ● 邱若山 (文芸・言語研究科 静宜大学日本語文学系教授兼系主任)

コロナウイルスがその暴威をふるい続け、変異株が続出し、ウィズコロナの日常が強いられて来た2021年の一年間、われら筑波大学台湾校友会と母校との連携もオンライン会議、オンライン留学説明会、オンライン海外留学フェアなどとオンライン尽くめの対応策で、行われてきました。台湾ではオミクロンの呼び名を「我沒空」と茶化して覚えますが、本当にコロナ禍の対応に暇なしですね。

前年台湾教育部から終身成就賞を受賞した林華韋会長は台湾体育運動大学学長退任後、教授を務める一方、台湾プロ野球富邦ガーディアンズ監督に就任し、台湾のスポーツ界にさらなる貢献をし続けます。母校の加納治五郎初代学長の韋駄天を連想します。

服部美貴氏の「帰国留学生同窓会のネットワーク」の紹介は貴重で、第5回台湾人若手カフェ、第2回筑波会議にオードリー・タン台湾デジタル大臣を迎えての講演、虎年の春聯イベント、同窓会など、少数の対面式以外は、すべてオンラインで順調に実行されました。

井脇毅氏は「台湾・日本の野球の架け橋」として田澤純一投手、余書農氏、林華韋会

長そして筑波大学との連携を紹介してくださいました。

大庭良介先生は台湾オフィス所長を離任し、台湾から帰国後の3年間の多彩なご活躍をドタバタとご謙遜しておっしゃっていますが、感心の限りです。

母校在学中の後輩たち、羅媛氏、沈伯陽氏はそれぞれ所属の研究科、専攻を面白く紹介してくれました。

大庭先生も触れていらっしゃるように去年、我々の大先輩である蔡茂豊先生、許水徳先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

去年一年間、日本から何度も重ねてのワクチン支援を台湾はいただきました。台湾の国民として、言葉に尽くせない感謝を抱いております。日台両国の絆はさらに緊密に結ばれています。

コロナ禍が一日も早く収束／終息することを願ってやみません。国境が開放され自由に日台の間に往来できるようになった日には、すぐ母校の懐に飛び込みたい気持ちです。

皆様、今年こそ再会を楽しみにしつつ、どうぞご健康にお過ごしくださいませ。

編輯後記

文 ● 邱若山 (文藝・言語研究科 静宜大学日本語文学系教授兼系主任)

新冠状病毒持續肆虐，新變異型擴散，2021一整年，不分國度，人類被迫過著必須與病毒共處的日常生活。我們筑波大學台灣校友會和母校連結的各種活動；總會、留學說明會、海外留學座談會等、都是以線上連結作為對策來進行。在台灣，我們甚且把オミクロンの病毒名稱用「我沒空」的諧音來記，真是防疫沒空啊！

前年獲得台灣教育部頒發終身成就獎的林華韋會長卸下台灣體育運動大學校長職務，擔任教授並出任職棒富邦悍將領隊，繼續對台灣體育界做出更大的貢獻。會讓我們聯想到擁有韋駄天美名的母校第一任校長加納治五郎。

服部美貴的「歸國留學生同學會活動報告」很是珍貴，第五屆台灣年輕人咖

筑波大學台灣校友會會刊 第六期

編輯 邱若山、孫寅華、服部 美貴、林佳瑤

封面設計 曹融

發行人 林華韋

出版人 筑波大學台灣校友會

台北市大安區長興街81號2樓

02-3366-9313

出版日期 2022年3月12日

版權所有・翻印必究 Printed in Taiwan

照片拍攝地點



綜合研究棟 A を望む
遠眺總合研究棟 A

廣告贊助校友：

揚雅(統豪)國際股份有限公司 黃裕益 (農林工學研究科博士1992年畢)

和友檢驗科技有限公司 莊坤遠 (農林工學研究科博士2002年畢)

國立屏東科技大學 李柏旻 (農林工學研究科博士2004年畢)

全台物流股份有限公司 張建中 (經營政策科學研究所碩士1988年畢)

全家便利商店股份有限公司 潘進丁 (經營政策科學研究所碩士1985年畢)

筑波大學台灣校友會會費、寄付金のお振込みは、以下の口座をお願いします。

帳號：玉山銀行 大墩分行 0288979138615

戶名：莊坤遠

啡座談會，第二屆筑波會議邀請台灣行政院政務委員唐鳳演講，虎年寫春聯活動、筑波同窗線上聚會等，除了少數的對面實體參加之外，大多是以線上方式順利舉行。

井脇毅先生的〈台日棒球的橋樑〉介紹了在台灣活躍的田澤純一投手與余書農、林會長和筑波大學的緊密關係。

大庭良介老師在結束台灣辦事處處長工作回到母校之後，展開多采多姿的國際交流工作以及專業的研究工作，令人敬佩與感動。

目前在母校就學中的學弟妹、羅媛、

沈伯陽二位介紹了他們所屬的研究科，期待他們有豐碩的成果。

大庭老師也有提到，我們去年失去了蔡茂豊老師、許水徳先生兩位大前輩，在此謹祈兩位前輩的冥福。

去年一年之間，台灣獲得了日本多次贈送疫苗的支援，對台灣人而言真是難以言喻的感謝。台日情誼因疫情而更加鞏固。

希望新冠病毒疫情早日結束，國境開放台日間能自由去來時，馬上投入母校的懷抱。

期待今年能夠再相會，請大家保重身體健康。

資源整合。解決問題。創造價值。

校友紹介
Resource Integration. Solve the problem. Create value.



AI 環控大數據

Artificial Intelligence, Big Data and Environment

智能化~整廠 規劃改建及興建諮詢

綠色產業
環保、節能、減碳、減費

Waste reuse
廢棄物再生利用

Source management
源頭管理

Trend of micro profit.
微利時代

- 禽舍設計模組化 (Composition of poultry houses)
- 溫網室環控系統 (Ecosystem control in greenhouse)
- 土壤溼度偵測及小型氣象站 (Soil moisture sensor)
- 百葉二段式入風口 (Shutter inlet (two-stage type))
- 智能環控數據 (Environmental control system in poultry house)
- 食品級防疫消毒 (Disinfection - Cooling (food-grade))
- 大數據收集/分析 (Big data analytics)
- 土雞禽舍升級 (Poultry house upgrade)
- 智能化溫室~小番茄 (Intelligent greenhouse (cherry tomato))

觀念對了~人對了~事就對了!
Right thinking + Right people = Right thing

和友檢驗科技有限公司 中台科技大學環安衛分析實驗室



勞動部認可 符合 ISO 17025 國際規範



感應耦合電漿發射光譜儀 - 質譜儀



原子吸收光譜儀



微波消化器



液相層析串聯式質譜儀



六位數精密天平

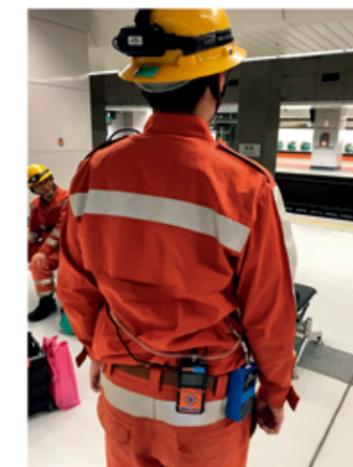


服務項目：

- ✓ 作業環境監測(勞動部職業安全衛生署認可)
- ✓ 職業安全衛生教育訓練(台中市政府認可)
- ✓ 職業安全衛生管理與相關技術諮詢服務
- ✓ 作業環境改善控制工程評估與規劃設計
- ✓ 化學品、重金屬、粉塵濃度分析與測試
- ✓ 檢知管直讀測定、閃火點測試
- ✓ 客製化超微量分析測試

和友檢驗科技有限公司成立於西元2017年，為台中市中台科技大學育成中心輔導之專業服務機構，以社會服務與培育專業人才為宗旨，結合職業安全衛生研究，提供專業之職業衛生管理諮詢與檢測分析服務，成立以來已獲國內製造業、食品業、運輸業等各領域事業單位委託提供服務。

和友將以職業安全衛生學術研究為後盾，提供客製化分析、環境測定與數據判讀，保障作業勞工健康。



「作業環境測定」とは「作業環境の実態を把握するため空気環境その他の作業環境について行うデザイン、サンプリングおよび分析(解析を含む)」をいい、労働者の健康確保のため、台湾と日本両国の法律で定期的な実施が義務付けられています。和友は台湾政府労働省の認可を得て、日系企業の皆様にも専門的なサービスを提供いたします。



台湾で最も美しく、 緑あふれるキャンパス

國際化
Internationalization

全人化
Spiritualization

專業化
Professionalization



SINCE
1924

NPUST
TAIWAN

國立屏東科技大學

National Pingtung University of
Science and Technology

🏠 <http://www.npust.edu.tw>

☎ +886-8-7740561

📠 +886-8-7740208

✉ oia@mail.npust.edu.tw

📍 1, Shuefu Road, Neipu, Pingtung 91201, TAIWAN
National Pingtung University of Science and Technology



全台物流

股份有限公司

法治為本

企業永續經營之保障

創新為先

持續競爭優勢的原動力

誠信至上

誠信是客戶滿意之基礎

服務第一

開拓新客戶之利器

林口物流中心



大溪物流中心



八德物流中心



台中物流中心



全台物流為全家便利商店之關係企業

雲林物流中心



高雄物流中心



花蓮物流中心



產業別 倉儲物流業

成立於 西元1989年

全台物流為國內頂尖之物流倉儲服務業者，一向本著『物盡其用、貨暢其流』的理念，透過科學化的管理與綿密的倉儲配送網絡，提供客戶低成本與高品質之供應鏈管理服務。

全台物流以【全方位的綜合型物流中心】自許，在作業技術上建構『常溫、恆溫、冷藏、冷凍、冰溫』五大溫層完善之物流技術。

隨著近年來外食產業興起，公司亦提供完整之商流服務，包含商品採購、庫存調撥及提供完整之配送服務。同時也獲得HACCP及ISO22000：2005食品安全管理系統雙認證。

歡迎對**物流及外食產業**有興趣者加入我們的行列！

自2003年起，年年名列天下雜誌之**百大服務業**

ISO政策



商品安全·客戶安心

理貨溫控零異常
配送溫控零異常

濃醇

成就 完美黃金比例
口感 濃郁



Let's Café



筑波大学

University of Tsukuba



筑波大學台灣校友會

UNIVERSITY OF TSUKUBA
TAIWAN ALUMNI ASSOCIATION

10672台北市大安區長興街81號

筑波大學台灣校友會秘書處

02-3366-9313